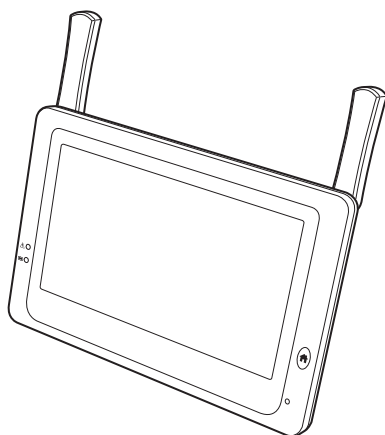
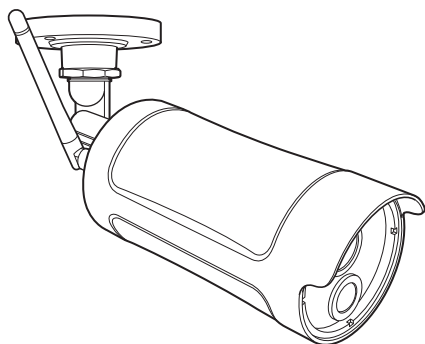


ワイヤレスフル HD カメラ & 7 インチモニターセット

Full Hi-Vision

WSS7M2C

保証書付



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、液晶モニターに増設用カメラを最大 3 台まで追加で登録できます。増設する場合は、専用の増設用カメラ「増設用センサーライト付ワイヤレスフル HD カメラ (WSS1C)」または「増設用ワイヤレスフル HD カメラ (WSS2C)」をお買い求めください。WSC シリーズのカメラとは互換性がありません。

はじめに

準備／設置

カメラ設定／通話

録画／再生

システム設定

アラート設定

インターネット接続

その他

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
内蔵充電電池の取り扱いについて	8
使用上のご注意	10
必ずお読みください	10
録画について	10
使用上のご注意	10
設置のご注意	11
防水性能について（カメラのみ）	11
無線電波についてのご注意	11
モーション検知について	12
日時設定について	12
microSD カードについて	12
外付けハードディスクについて	13
商標について	13
譲渡または廃棄するときのご注意	14
セット内容	15
各部の名称	16
カメラ	16
液晶モニター	17

準備／設置

映像を確認する	18
カメラを準備する	18
液晶モニターを準備する	19
設置する前に	20
カメラ設置の注意点	20
電波到達距離について	20
モーション検知について	21
カメラ設置の確認事項	23
カメラを設置する	24
カメラの寸法を確認して設置場所を決める	24
カメラを設置する	25
増設カメラを登録するとき	28
microSD カードに録画する	29
外付けハードディスクを接続する	31
外付けハードディスクを取り外す	32
テレビに接続する	33
画面のアイコン	34
メニュー画面の表示	37
メニューの操作方法	37
メニュー一覧	38

カメラ設定／通話

周波数を設定する	39
カメラの映像解像度を設定する	40
カメラの明るさを設定する	41
センサーライトの明るさと点灯時間を設定する（カメラ（WSS1C）使用時のみ）	42
センサーライトの明るさを設定する	42
センサーライトの点灯時間を設定する	43
カメラのセンサーライトを手動で点灯／消灯する	43
通話機能を使用する（カメラ（WSS1C）使用時のみ）	44
カメラへ音声を送信する	44
液晶モニターから音声を送信する	44
増設カメラを液晶モニターに登録する	45
液晶モニターに表示するカメラを選択する	47
カメラの映像を分割表示する	48

録画／再生

モーション検知感度を設定する	49
録画方法と時間・曜日を設定する	50
録画時間（録画ファイルの設定時間）を設定する	52
microSD カード／外付けハードディスクを初期化する	53
上書き録画を設定する	55
録画した映像を再生する	56
録画ファイルを削除する	58

システム設定

スピーカーからの音量を調整する	60
日時・時間を設定する	61
パワーセーブを設定する	62
初期化する	63
言語を設定する	64
ソフトウェアをアップデートする	65
ソフトウェアバージョンを確認する	66
タイムゾーンを設定する	67

アラート設定

アラートの音量を設定する	68
アラート音を設定する	69
アラートの繰り返し間隔を設定する	70

インターネット接続

ネットワークを設定する	71
ネットワーク情報を確認する	71
IP 設定を手動で設定する	72
スマートフォンでカメラの映像を見る	73
インターネット回線に接続する	73
専用アプリ homeView（Android 版）	74
専用アプリ homeView をインストールする	74
デバイスリスト画面	76
ライブビュー画面	78
専用アプリ homeView（iOS 版）	79
専用アプリ homeView をインストールする	79
デバイスリスト画面	81
ライブビュー画面	83

その他

リモートホームコントロールを使う	84
922MHz 帯について	84
リモートホームコントロールについて	85
液晶モニターを壁に掛ける	86
故障と判断する前に	87
メンテナンス、別売品	90
お手入れおよびメンテナンス時のご注意	90
別売品について	90
仕様	91
無線通信部	91
カメラ	91
液晶モニター	92
スマートフォンおよびタブレット	92
外形寸法図	93
カメラ	93
液晶モニター	93
保証書	96

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 危険	この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性が想定される内容を示しています。		
 警告	この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		
 注意	この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		
 一般的な注意事項	 水ぬれ禁止	 接触禁止	 指示を守る
 一般的な禁止事項	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 プラグを抜く

警告

-  **指定の電源で使用する**
 - 必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。
他の機器の AC アダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。
 - 付属の専用 AC アダプターは AC100V (50/60Hz) コンセントを使用する。
100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。
-  **ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない**
 - ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っばるなどをしない。
電源コードなどが傷んだときは（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。
-  **通風孔をふさいだり、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない**
火災や感電の原因となります。
-  **結露した状態で使用しない**
故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。
-  **ぬれた手でさわらない**
感電の原因となります。
-  **雷が鳴り出したら本体やコードに触れない**
感電の原因となります。
-  **分解、改造、修理はしない**
感電・火災・故障の原因となります。
故障した場合は、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに修理を依頼してください。
-  **スピーカーを耳にあてない**
難聴などの原因となります。

警告



お手入れは、AC アダプターをコンセントから抜く

感電ややけどの原因となります。



異常があるときは、すぐに使用を中止する

次のような異常時は、AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- 煙がでる、変な臭いがする
 - 内部に水や昆虫、物が入った
 - 異音が鳴る
 - AC アダプターのコードや本体の外部が破損、劣化している
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。



長期間使用しないときは、安全のため必ず AC アダプターを AC コンセントから抜く

火災の原因となります。



AC アダプターは、風通しの悪い場所で使用しない

風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- 布や布団でおおったり、包んだりする



AC アダプターに水をかけたり、濡らしたりしない。また、AC アダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない

水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物が AC アダプターの上に載らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。



本製品は AC コンセントの近くに置く

AC アダプターが容易に取り外しできるようにしてください。



AC アダプターは、AC コンセントに根元までしっかりと差し込む

すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、AC アダプターは定期的に AC コンセントから抜いて掃除してください。



万一、AC アダプターを落としたり、破損したりした場合、AC アダプターを AC コンセントから抜いて販売店に連絡する

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



AC アダプターを AC コンセントから抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ず AC アダプター本体を持って抜いてください。



本製品を移動する場合、必ず AC アダプターを AC コンセントから抜く

コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。



本製品にホースなどで直接水をかけない

火災や感電の原因となります。

警告



雷の発生が予想される時は、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜く落雷によって、火災の原因となることがあります。



電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしない火災や感電の原因となります。



雷のときは配線工事をしない感電の原因となります。



- 次の場所に設置しない
- 雨水などがかかる場所（液晶モニターのみ）故障の原因となります。
- 強度の不足する場所、不安定な場所落下や転倒によるけがの原因となります。
- 継続的に振動が発生する場所（工事現場など）落下や転倒によるけがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所火災や感電、故障の原因となります。
- 浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所湿気や湯気による故障の原因となります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- 可燃性ガスの雰囲気中爆発によるけがの原因となります。
- 可燃物のそば
 - わらびき屋根の軒下
 - ベランダなど、洗濯物や布団などがカメラに触れる場所
 - 風により可燃物が飛んできてカメラを覆う恐れのある場所火災の原因となります。



設置、点検時は次のことに注意する

- 設置や配線、点検時は電源を切ってから作業する。感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- 足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。落下や転倒によるけがの原因となります。
- 本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。けがや故障の原因となります。
- ケーブル類は正しく配置する。引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、確実に固定する。落下によるけがの原因となります。
- 台風のアとや積雪のアとなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- 取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。落下による破損、けがの原因となります。



電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店または工事店に依頼する電気工事士の資格がない場合、電気工事をする場合は、法律で禁止されています。

 警告

次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない。

- 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室など）
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置

誤動作による事故の原因となります。



本製品を壁面に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付け

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁（石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニア板など）には取り付けないでください。落下により、けがの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。



土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする

感電の原因となることがあります。



取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確認する

固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。



屋外コンセントは、防水ケースを使用する

AC アダプターは防水仕様ではありません。漏電や感電の原因となります。



コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

注意



距離が離れている場合、300m以内でも間に次の障害物が存在する場合など、環境によって電波が弱くなりブツブツ音や通話の途切れが発生する

• 障害物

- 金属製のドアや雨戸
- 複層ガラスの窓
- アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- 壁を何枚も隔てたところ
- コンクリートやトタン製の壁

• 環境

- テレビ、携帯電話などの無線局が近くにある場合
- テレビ、ラジオ、ルーター、パソコン、FAX、送信機など電波を発生している家電製品やその他の OA 機器が近くにある場所
- カメラ、液晶モニターをそれぞれ別の階や家屋などで使うとき



お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。

溶けたり、変形や変色の原因となります。



定期的に点検する

取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

内蔵充電電池の取り扱いについて

液晶モニターは内蔵リチウムイオン電池（以下内蔵充電電池、またはリチウムイオン電池という）を使用しています。

危険

次のことをしない



• 水、海水、ジュースなどで濡らさない



• ストーブなどの熱源のそばに放置しない



• 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

内蔵充電電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流や電圧で充電電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。



液晶モニターを火の中に投入したり、加熱したりしない

内蔵充電電池の絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。



釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

内蔵充電電池が変形してショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。



充電には、必ず専用の AC アダプターを使用する

それ以外の方法では充電しない
他の充電器などを使用して充電すると、発熱、破裂、発火の原因となります。



内蔵充電電池を分解したり、改造したりしない

分解、解体すると金属端子が露出してショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。また、内蔵充電電池に組み込まれている保護機構が壊れた状態で充電すると、発熱、破裂、発火の原因となります。



火のそばや炎天下に停めた車中などでの充電はしない

高温になると危険を防止するための保護機構が動作して充電できなくなったり、保護機構が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

警告



乳幼児の手の届かないところに置く

不用意な取り扱いは危険をともないます。



液晶モニターから液体が漏液して目に入ったときは、すぐに水で洗い、医師の診察を受ける

内蔵充電電池の電解液が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。



電子レンジや高压容器に入れない
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。



液晶モニターの異常に気付いたら、ただちに使用を中止する
使用中、充電中、保管時に、異臭や発熱、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときは、絶対に使用しないでください。そのまま使用を続けると、内蔵充電電池が発熱、破裂、発火する原因となります。



充電中、可燃物を上に載せたり、覆ったりしない

内蔵充電電池が発熱、破裂、発火する原因となります。

注意

-  **直射日光の当たる場所、炎天下に停めた車中など、高い温度や高い湿度となる場所に放置しない**
内蔵充電電池を漏液させる原因となります。
-  **静電気が発生する場所では使用しない**
内蔵充電電池には、危険防止のため保護機構が組み込まれています。静電気が保護機構に損傷を与え、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **本製品に磁石など磁気を持っているものを近づけない**
磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
-  **指定温度範囲以外での充電はしない**
内蔵充電電池の充電温度範囲は0℃～+40℃です。この温度範囲以外での充電は、充電電池を発熱、破損させる原因となります。
-  **内蔵充電電池の異臭、発熱、その他異常があるときは使用しない**
お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
-  **液晶モニターから漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す**
皮膚がかぶれる原因となります。

使用上のお願い

必ずお読みください

本製品を設置する前に、必ず動作確認を行ってください。

- ① カメラの電源を入れてから、カメラと液晶モニターを近づけてペアリング（登録）し、移動できる場所でカメラの映像が液晶モニターの画面に表示されることを確認してください。（➡ 18 ～ 19 ページ）
- ② 設置場所近くの環境でもカメラの映像が液晶モニターの画面に表示されることを確認してください。

重要 設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が減衰するなど、正常に動作しないことがあります。

録画について

本製品の故障や誤動作、接続した機器の不具合などの原因によって、microSD カードや外付けハードディスクなどに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ・本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- ・カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- ・カメラのスピーカーに雨などがかったときは、一時的に通話ができなくなることがありますが、故障ではありません。スピーカーを乾燥させると通常に通話ができます。
- ・停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本製品は、microSD カードや外付けハードディスクなどにカメラの映像を録画します。
- ・カメラと液晶モニターの通信状態によって録画が途切れることがあります。
- ・周囲温度 0℃ 以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- ・カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭取ってください。
- ・専用アプリを使用してスマートフォンで映像を見るときは、通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。
- ・専用アプリは、スマートフォンなどのテザリングでは使用できません。また、Android、iOS、iPadOS 端末以外の携帯電話や端末では使用できません。

設置のご注意

- ・カメラを2台以上使用する場合は、カメラ同士を5 m以上の間隔をあけて設置してください。
- ・カメラをセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- ・2セット（液晶モニターとカメラ）以上を同一場所に設置することはできません。
- ・カメラは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。
- ・液晶モニターとカメラの間に鉄板やアルミ板など電波を遮断するものがない場所に設置してください。
- ・本製品のそばに電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）がないことを確認してください。

防水性能について（カメラのみ）

- ・本製品のカメラには、JIS 保護等級 IP66（耐塵・耐水性）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障するおそれがあります。
- ・カメラのスピーカーに雨などがかったときは、一時的に通話ができなくなることがありますが、故障ではありません。スピーカーを乾燥させると通常に通話ができます。
- ・本製品は気密性が高いため、夏場の車内など、高温環境から常温環境に設置する場合など、急激な温度変化があった場合、一時的にカメラやセンサー部などの内部が結露する場合があります。しばらくすると解消し、品質には影響ございません。

無線電波についてのご注意

本製品の電波周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯は、医療機器・電子レンジなどの産業・科学機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・電子レンジ、デジタルコードレス電話、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器（無線 LAN、Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機器など）の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- ・本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本製品と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を停止してください。



本製品の無線の電波について

2.4 FH 8	2.4	：2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を示します。
	FH	：FH 方式（周波数ホッピング方式）変調であることを示します。
	8	：想定される干渉距離が 80m 以下を示します。
————		：使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを示します。

- ・本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。また、本製品に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざんなどは行わないでください。不明点やその他お困りのときは、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

モーション検知について

詳細は、「モーション検知について」(➡ 21 ページ)を参照してください。

モーションセンサーが検知することによって動作します。

次の場合は、動体（人や動物）がいなくても検知する、または動体（人や動物）がいなくても検知しないことがあります。故障ではありません。

動体（人や動物）がいなくても検知する

- カーテン、炊飯器や電気ポットなどの蒸気を検知している
- カメラの前に動くものがある
- エアコンの風が直接当たる
- 直射日光などの強い光が当たる
- 不安定な場所に設置している

動体（人や動物）がいっても検知しない

- カメラの前に障害物がある
- カメラの周囲温度が高い



モーション検知の特性

モーションセンサーを横切る動きは検知しやすく、センサーの真下を通る動きや正面から近づく動きは検知しにくくなります。

日時設定について

本製品には時計機能があり、映像に日時を記録できます。

月に約 1 分程度の誤差があります。定期的に正しい日時に設定してください。

はじめてご使用になるときは、液晶モニターの表示や録画ファイルに記録するために、日時を必ず設定してください。(➡ 61 ページ)

microSD カードについて

液晶モニターの microSD カードスロットに挿入した microSD カードにカメラの映像を録画できます。

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC メモリーカード(クラス 10 以上)	最大 256GB

- すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カードは消耗品です。定期的に microSD カードの交換をお勧めします。
- microSD カードを挿入する、または取り出すときは、液晶モニターの電源を OFF にしてください。
- microSD カードは、エレコム製の MLC タイプ（書き換えに強い高耐久型）を使用することをお勧めします。
(エレコム製の microSD カードは動作確認済です。詳しくは弊社 HP の D サポ！を確認してください。)

外付けハードディスクについて

液晶モニターの USB 端子に接続した外付けハードディスクにカメラの映像を録画できます。

本製品は、次の外付けハードディスクを使用してください。

外付けハードディスク容量
最大 2TB

- すべての外付けハードディスクの動作を保証できるものではありません。
- 万一録画されなかった、データが破損・消去したなどの障害に対し、当社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- USB 端子部分には、直接手で触れないでください。
- 本製品やパソコンなどで外付けハードディスクをフォーマットすると、ハードディスク内のデータは消去されます。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。
- 外付けハードディスクは、エレコム製を使用することをお勧めします。
(エレコム製の外付けハードディスクは動作確認済です。詳しくは弊社 HP の D サポ！を確認してください。)
- USB メモリーは使用しないでください。

商標について

- iPhone、iPad、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- Google および Google ロゴ、Android、アンドロイド、Google Play は、Google LLC の商標です。
- microSD ロゴ、microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

譲渡または廃棄するときのご注意

本製品を譲渡または廃棄する場合は、プライバシー情報の漏えいなどを防止するために、次の点に注意してください。

- 本製品のシステムを初期化して、設定した情報を消去する (➡ 63 ページ)
- 本製品に microSD カードを挿入しているときは、microSD カードを取り出す



充電電池のリサイクルについて

内蔵のリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。なお充電電池はお客様で交換できませんので、使えなくなった本製品は廃棄せず、輸送会社に「リチウムイオン電池」を含んだ内容物であることを伝え、輸送会社の指示にしたがって梱包のうえ、宅配便の配達記録が残る方法にて、下記までご送付ください。当社が責任をもってリサイクルいたします。

お客様自身で液晶モニターを分解して内蔵充電電池を取り外さないでください。



■送付時のご注意

- 配送料はお客様の負担となります。着払いでご送付いただいても受領いたしかねます。
- 本製品以外は対象外です。
- 回収対象外品が混入していた場合は、お客様負担にて返送させていただきます。
- 回収品のお引き渡し（輸送会社が受領したとき、または郵便物として集荷されたときを含む）により、回収品の所有権は弊社に転じるものとします。また、回収品のお引き渡し後における回収中止、回収品の返却には応じられません。

〒 651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

DX アンテナ株式会社 カスタマーセンター

ナビダイヤル：0570-033-083

携帯電話・PHS・IP 電話からもご利用いただけます。

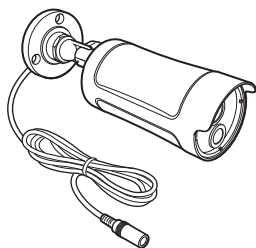
上記ダイヤルがご利用いただけない場合：050-3818-9016

※ナビダイヤルの料金は固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます。

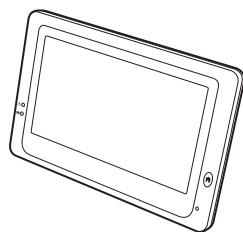
セット内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。

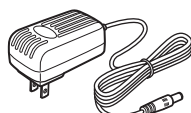
重要 必ず付属の AC アダプターを使用してください。



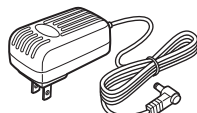
カメラ：1 台
コード長約 2.8m



液晶モニター：1 台



カメラ用 AC アダプター：1 個
コード長約 1.8m
型番：CS12N090080FJF



モニター用 AC アダプター：1 個
コード長約 1.5m
型番：CS18D050300FJF



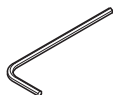
アンテナ：1 本



コンクリートアンカー：3 本



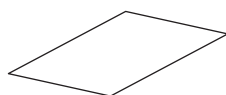
カメラ取付用ネジ：3 本



六角レンチ：1 本

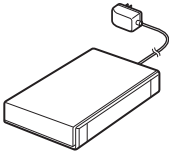
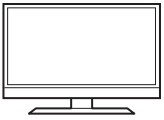


LAN ケーブル (CAT5e)：1 本
約 1.5m



取扱説明書：1 冊

●市販品を準備する (お客様の使用方法によって、用意してください。)

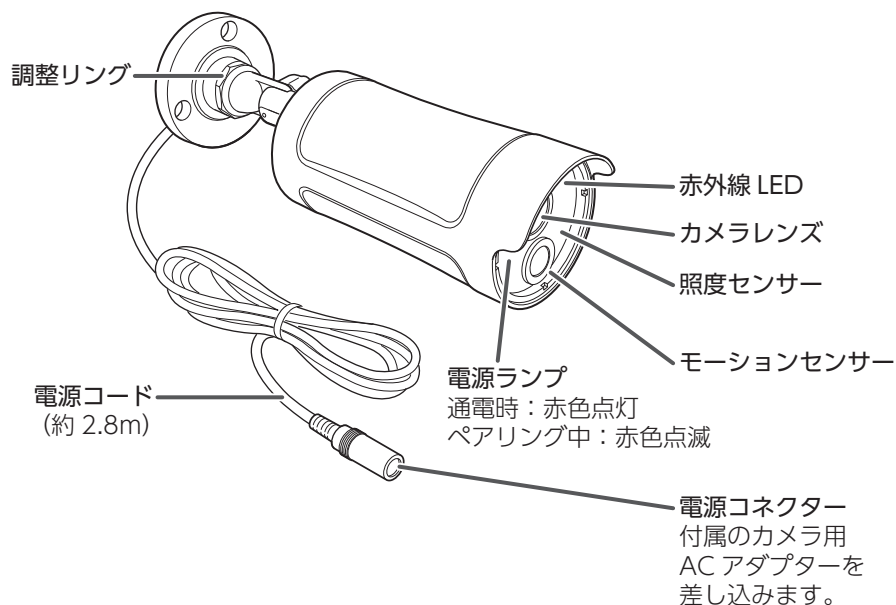
microSD カード (市販品) を 使用して映像を録画する場合	外付けハードディスク (市販品) を使用して映像を録画する場合	テレビ (市販品) を使用して カメラ映像を見る場合
 ・microSD カード microSDHC/ microSDXC クラス 10 以上 容量：最大 256GB (エレコム製推奨)	 ・外付けハードディスク* 容量：最大 2TB (エレコム製推奨) ・USB ケーブル USB2.0	 ・テレビまたはモニター HDMI1.4、1080i/720p 入力対応のテレビなど ・ミニ HDMI ケーブル ミニ HDMI (Ver.1.4) (片側 typeA- 片側 typeC)

※ USB ハードディスクはセルフパワー (AC アダプター使用) で動作します。バスパワーの USB ハードディスクをご使用のときは、消費電流 500mA 以下で動作します。

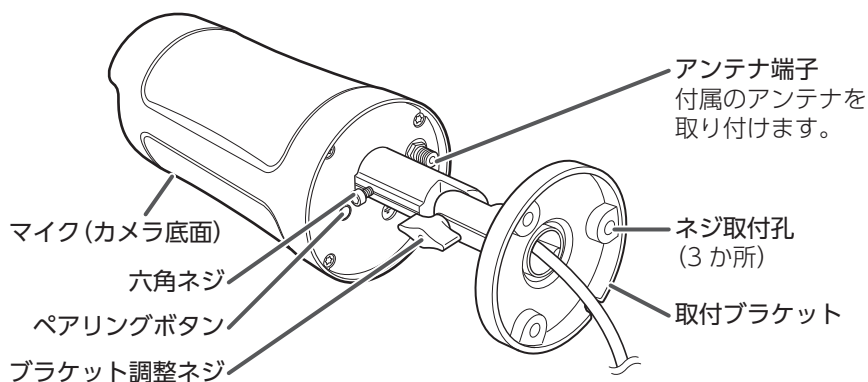
各部の名称

カメラ

●正面



●背面



液晶モニター

●正面



お知らせ表示灯

青色点灯：モーション検知時

青色点滅：アンリンク

(カメラの電波が届かない)



電源表示灯

緑色点灯：充電完了 (モニター用

AC アダプター挿入時)

使用中 (モニター用

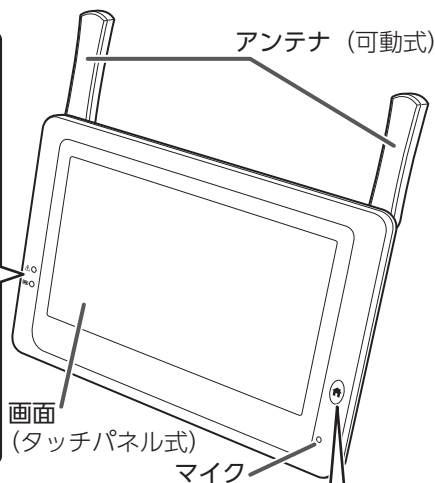
AC アダプター未挿入時)

橙色点灯：充電時

赤色点滅：バッテリー残量少

電源 OFF で満充電になったとき

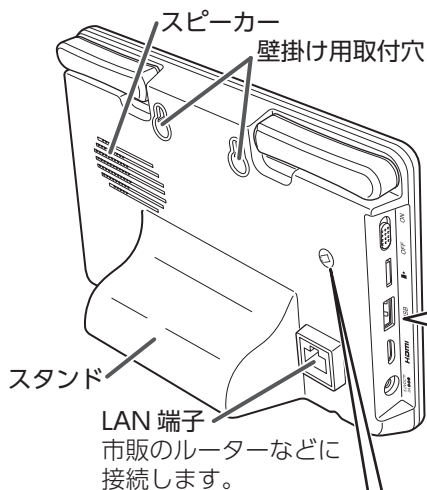
に、電源表示灯は消灯します。



メニューボタン

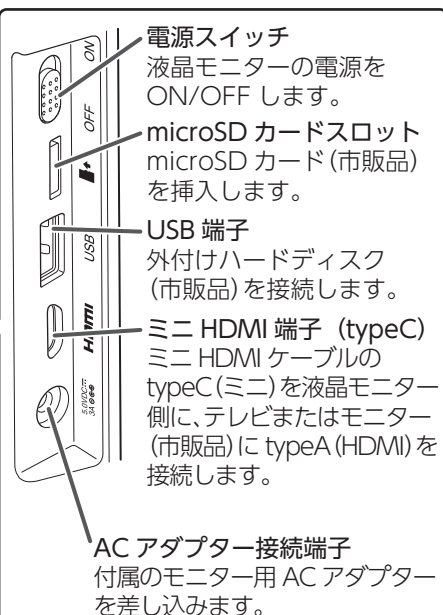
メニュー画面を表示します。

●背面



カメラ切替ボタン

HDMI ケーブルでテレビに出
力しているときに、選択して
いるカメラ番号が切り替わります
(アイコンが白色に変わります)。
(⇒ 33 ページ)



映像を確認する

設置する前に映像が映ることを確認してください。

⚠注意



必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

他の機器の AC アダプターを使用すると、故障や感電などの原因となります。

重要

- AC アダプターは防水（防滴）仕様ではありません。水に濡れない場所で使用してください。
- カメラの電源コネクターは防水（防滴）仕様ではありません。コネクター部が屋外になる場合は、必ず市販の自己融着テープなどを使用し、防水処理を施してください。
- AC アダプターは必ず奥まで確実に差し込んでください。

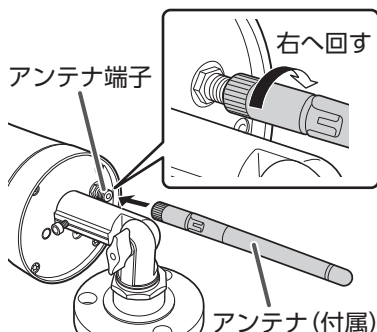
カメラを準備する

1 カメラ背面のアンテナ端子に付属のアンテナを取り付ける

アンテナ端子に付属のアンテナを差し込み、右に回します。

重要

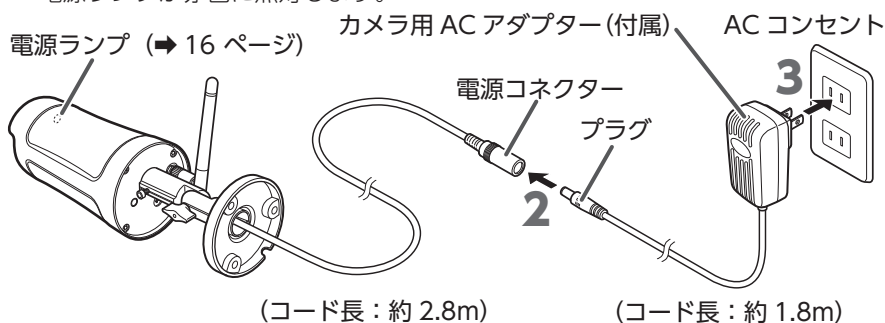
- アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。
- アンテナを取り付けていないと、液晶モニターで映像を見ることができません。
- アンテナ端子にしっかりと締め付けしてください。
- スパナなどの工具を使用して締め付けしないでください。



2 カメラの電源コネクターに付属のカメラ用 AC アダプターのプラグを差し込む

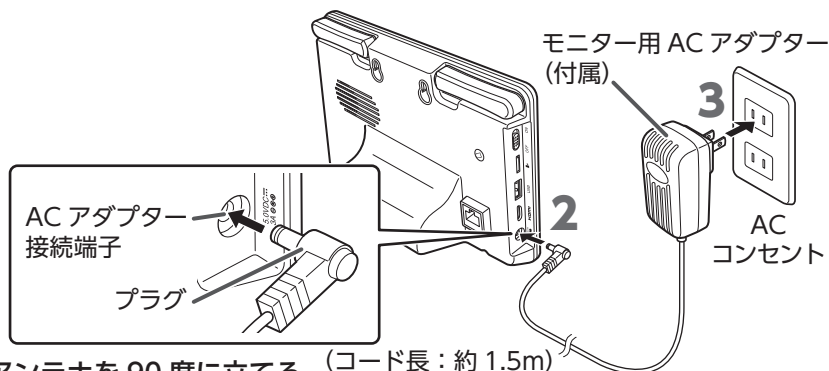
3 AC コンセントにカメラ用 AC アダプターを差し込む

電源ランプが赤色に点灯します。



液晶モニターを準備する

- 1 液晶モニターの画面の保護フィルムをはがす
- 2 液晶モニター側面の AC アダプター接続端子に付属のモニター用 AC アダプターのプラグを差し込む
- 3 AC コンセントにモニター用 AC アダプターを差し込む



- 4 アンテナを 90 度に立てる (コード長: 約 1.5m)

使用時は 90 度で使用してください。

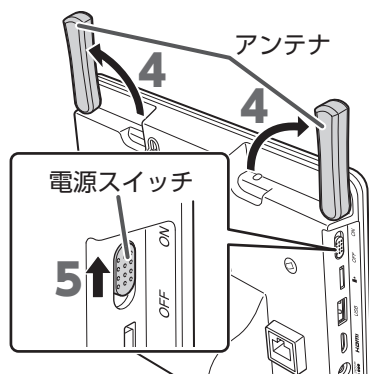
重要 アンテナを 180 度以上は開かないでください。破損の原因となります。

- 5 液晶モニターの電源スイッチを ON にする

- 6 液晶モニターの画面にカメラの映像が映っていることを確認する

カメラと液晶モニターを近づけた状態で確認してください。

- 7 液晶モニターの日時・時間を設定する (⇒ 61 ページ)



内蔵充電電池について

- ・液晶モニターは AC コンセントと内蔵充電電池の 2 つの電源供給方式があります。用途や設置場所に合わせて選択してください。
- ・内蔵充電電池ではじめて使用するときは、モニター用 AC アダプターを使用し、あらかじめ十分に充電してください。
- ・モニター用 AC アダプターを差し込んでいない状態で電池切れになったときは、モニター用 AC アダプターを差し込んでみてもすぐに電源が入らないことがあります。しばらく待ってから電源を ON にしてください。
- ・内蔵充電電池の連続使用時間および充電時間の目安は右のとおりです。ただし、使用環境によって異なる場合があります。

連続使用時間: 約 3 時間 (外付けハードディスク未接続 / カメラ 1 台使用時)
充電時間: 約 6.5 時間 (満充電まで)
電池寿命: 3 年程度 (ただし、保証は 1 年です)

重要 内蔵充電電池は交換できません。(消耗した内蔵充電電池については、⇒ 14 ページを参照してください。)

設置する前に

カメラ設置の注意点

- 他の機器からの温度変化や強い振動、電気ノイズの影響を受ける場所に設置すると、誤動作する原因となります。
- カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像が液晶モニターに表示されるか、液晶モニターの電波強度が3本以上になっていることを確認してください。その際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。
- 設置の際は、直射日光や街灯などの光が直接当たって高温になることを避けるため、またレンズへの雨水付着を防ぐため、軒下などに設置することをお勧めします。
- 周辺に 2.4GHz 帯の電波を発生させる機器（ルーターやコードレスホンなど）がある場合、誤動作を起こすことがありますので、離してください。

カメラを設置するときは、電波到達距離やモーション検知範囲に注意して取り付けてください。詳細は、下記の「電波到達距離について」および「モーション検知について」（➡ 21 ページ）を確認してください。

電波到達距離について

屋外にカメラ、屋内に液晶モニターを設置する場合は、構造によって電波到達距離が変わります。木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での目安は、次のとおりです。

木造	鉄骨	鉄筋コンクリート構造
約 20 ～ 40m	約 10 ～ 20m	約 5 ～ 10m

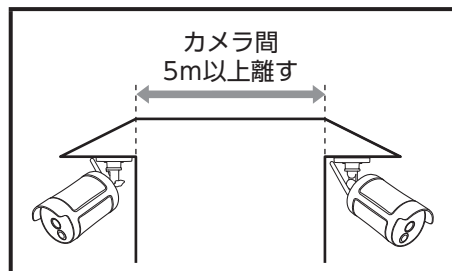
液晶モニターの電波強度が3本以上になっていることを確認してください。



設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。また、電波が届かない場合や映像が途切れる場合は、アンテナの角度を調整するか、液晶モニターの位置を移動することで、改善する場合があります。

カメラの距離について

隣接するカメラ同士は、カメラ間の電波干渉を防止するため、設置距離を5 m以上離してください。



カメラ間の距離 5m の途中に、ルーターなどの無線 LAN 機器がある場合は、電波が安定しない場合があります。無線 LAN 機器からも離してください。

モーション検知について

設置場所によっては、誤動作などの原因となりますので、下記に気を付けて設置場所を検討してください。設置前に設置したい場所に仮固定し、事前に確認してください。

検知しない

取付場所を変更してください

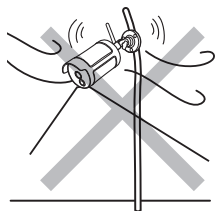
検知エリア内に障害物がある（植木、ガラスなど） ※点線部は検知しません。



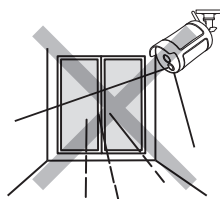
誤動作する

センサーが誤動作する恐れがあります。次のような場合は、取付場所またはカメラの向きを変更してください。

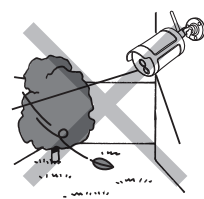
不安定なポールや壁面に取付
(検知エリアが定まらない)



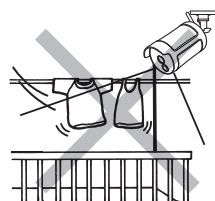
検知エリアが窓に向いている



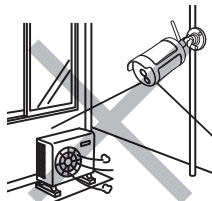
検知エリアが木に向いている
(風で木が揺れるため)



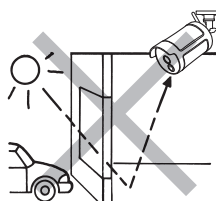
検知エリア内に洗濯物がある
(風で洗濯物が揺れるため)



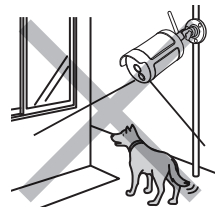
検知エリア内で急激な温度変化がある
(エアコンの室外機、水、湯気、油、すきま風など)



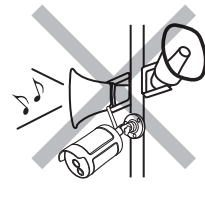
直射光、反射光が当たる
(太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、街路灯など)



検知エリア内に動くものがある
(カーテン、猫、犬、自動車など)



強い振動、電気ノイズの影響を受けやすい



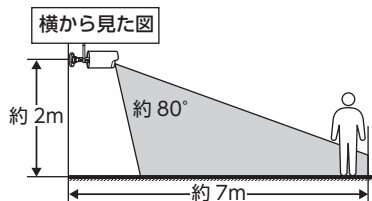
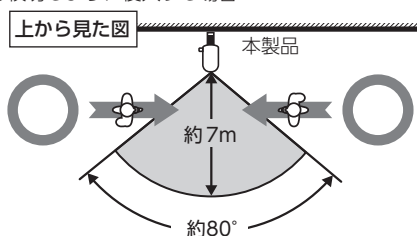
●モーションセンサーの反応範囲

モーションセンサーは PIR（パッシブインフラレッド）方式の赤外線センサー周囲の温度変化を検知する機能です。

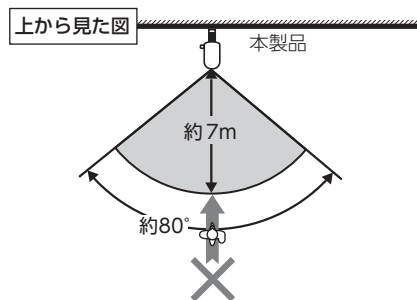
- カメラのモーションセンサー（PIR センサー）の検知範囲（距離：最大約 7 m、検知角：80°）で動体や熱の動きがあった場合、録画を開始します。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、上下左右方向の動きを検知しやすい特徴があり、センサーに対して人が正面から近づく動きや検知範囲の温度変化が小さい場合は、検知しにくい場合があります。
- センサーは熱の変化に反応するため、熱くなる場所などへの設置は避けてください。
- 周囲の温度と人体の温度差を検知するために、周囲の温度と体温の差が少ない場合や服装によって検知範囲は異なります。また、犬や猫などの動物、直射日光、エアコンやポットなどの熱源に対して、検知する場合があります。モーションセンサーが検知すると、センサーライト（カメラ（WSS1C）使用時のみ）が点灯します。
- カメラの向きを真横から下の図（横から見た図）よりも低い位置などに設置した場合には、検知エリアが手前になります。センサーの反応範囲とカメラの映像を見ながら設置する角度の確認をお願いします。

■上から見た図（2 mの高さに設置した場合）

- 横切るように侵入する場合



- 正面から近づく（検知距離が極端に短くなります）



重要

- モーションセンサーの前に物を置いたり、検知範囲内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。
- センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車などの動体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあつたり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなったり、誤動作する原因となります。

カメラ設置の確認事項

電波受信状況が安定しない状態

- 電波強度アイコンが 0 ～ 1 本しかない

カメラの向きや液晶モニターの位置を変えることで、電波受信状況が改善する場合があります。

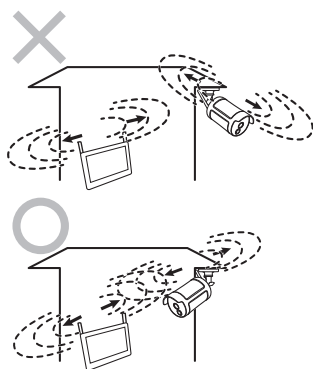
電波受信状況は、電波強度アイコンが 3 本以上あることを確認してください

設置する場所付近で無線 LAN など、2.4GHz 帯を利用する機器（ルーター、コードレスホンなど）を使用している場合も、電波受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、またはご使用のルーターの設定などを変更してください。

電波強度アイコンが 3 本以上ないときは、カメラを移動して電波受信状況が改善する場所をさがしてください。

カメラを移動できないときは、液晶モニターを移動しながら電波受信状況が改善する場所をさがしてください。

電波強度アイコン



カメラを設置する

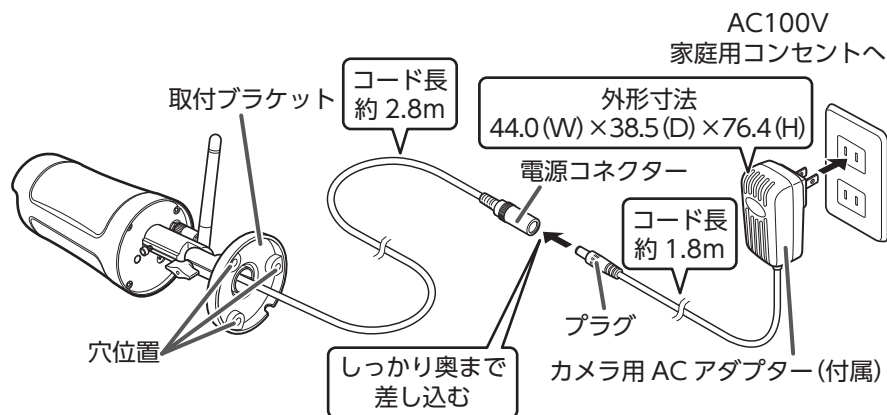
カメラの寸法を確認して設置場所を決める

カメラを固定する前に、「設置する前に」(⇒ 20 ページ)を必ず確認してください。

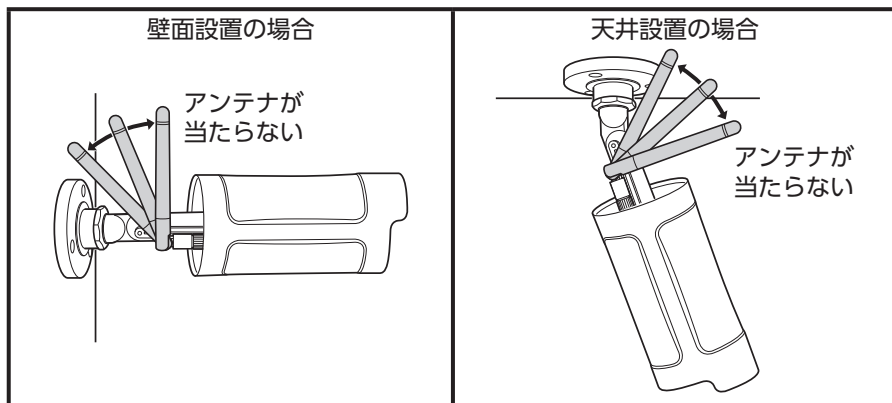
設置場所ですらに液晶モニターに映像が表示されることを確認してください。

重要 カメラの周囲が暗い場合、照度センサーが動き、自動で夜間撮影モードに切り替わります(映像は白黒になります)。周囲が明るくなると夜間撮影モードは自動で終了します。

取り付ける場所が決まったら、取付ブラケットの穴位置(3ヶ所)に合わせてペンなどでマーキングしておきます。



外形寸法からアンテナの高さを考慮し、アンテナが壁や天井に当たらないように設置してください。



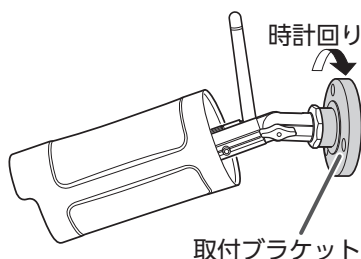
重要 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側の梁がある個所にネジがかかるように設置してください。

カメラを設置する

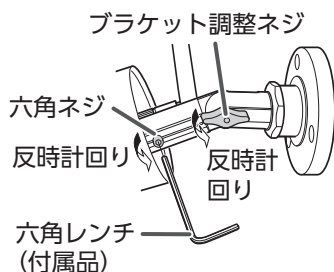
必要に応じて調整リング、六角ネジ、ブラケット調整ネジを緩めて、カメラの角度と方向を調整します。

1 カメラの各部を緩める

- ① 取付ブラケットを時計回りに1～2回程度回して緩める

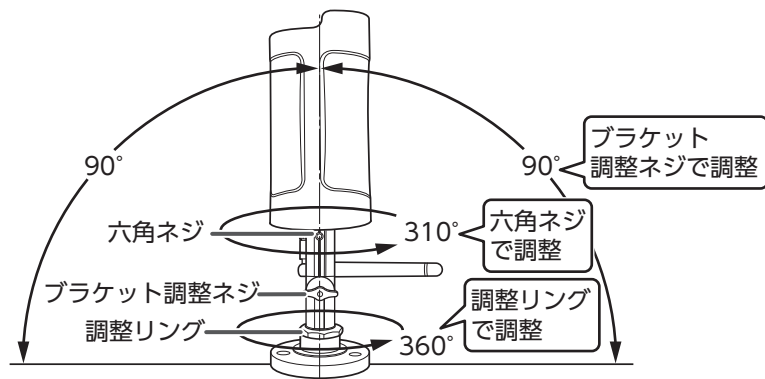


- ② 六角ネジとブラケット調整ネジをいったん反時計回りに回して緩める
六角ネジは六角レンチで緩めて仮固定してください。
ブラケット調整ネジは手で緩めてください。



重要

- ペンチやドライバーなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。
- カメラの可動範囲は次のとおりです。可動範囲以上に曲げないでください。カメラが破損する恐れがあります。

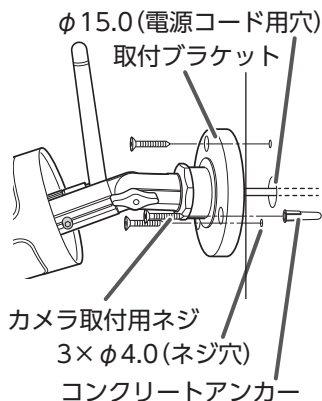


2 取付ブラケットを設置面に固定する

付属のカメラ取付用ネジ 3 本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

重要 カメラ取付用ネジは強く締めすぎないでください。

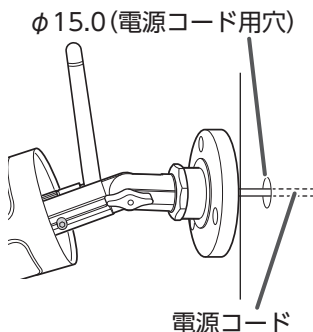
 コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所に $\phi 6.4\text{mm}$ 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。



電源コードの処理について

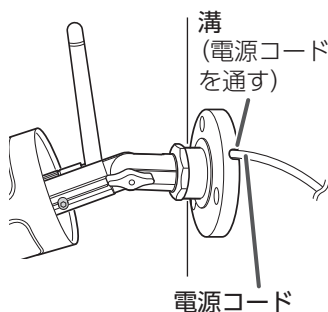
・設置面を通す場合

ブラケット位置の中心に $\phi 15\text{mm}$ 程度の穴をあけて配線を通します。

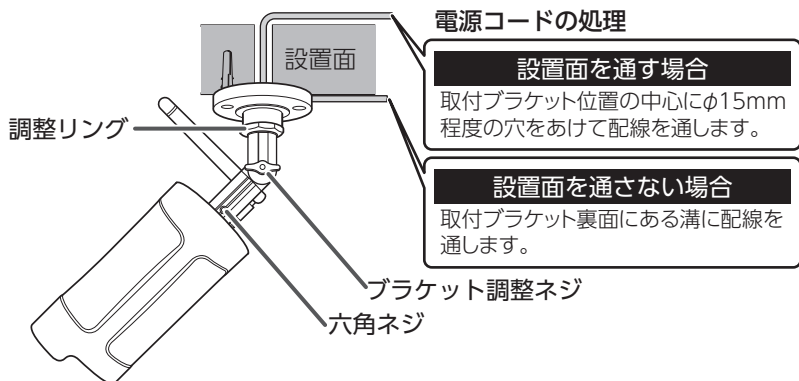


・設置面を通さない場合

ブラケット裏面にある溝 (1 か所) に配線を通します。



3 カメラ用 AC アダプターを差し込み、液晶モニターで映像を確認しながら最適なカメラの角度と方向を調整する

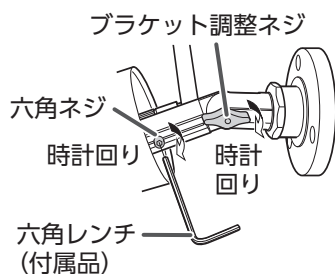


4 六角ネジとブラケット調整ネジを回して固定する

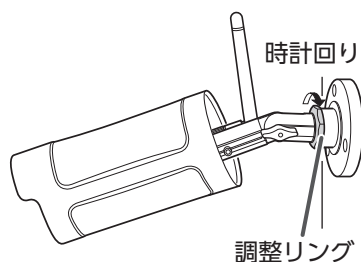
六角ネジは六角レンチで締め付けてください。
ブラケット調整ネジは手でしっかりと締め付けてください。

重要

- 六角ネジを締めるときは、六角ネジを奥まで差し込んで、締め付けてください。
- ペンチやドライバーなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。



5 カメラが動かないようにして、調整リングのみを時計回りに回して固定する



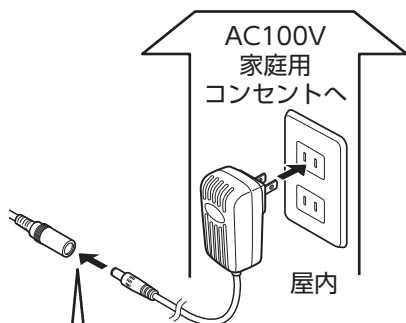
6 カメラ設置後の映像と電波強度を確認する

カメラを設置したあとは、映像が表示されることおよび液晶モニターの電波強度アイコンが3本以上 (、) になっていることを確認してください。電波強度アイコンが表示されていない、または3本以上になっていない (、) ときは、「設置する前に」 (➡ 20 ページ) で設置状況を確認してください。

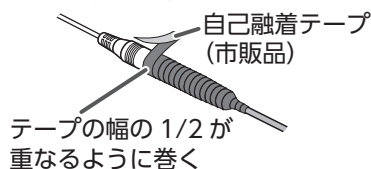
●防水処理について

屋外に設置する場合は、必ず自己融着テープまたは防水ケースを使用して、防水処理を行ってください。

自己融着テープを使用する場合



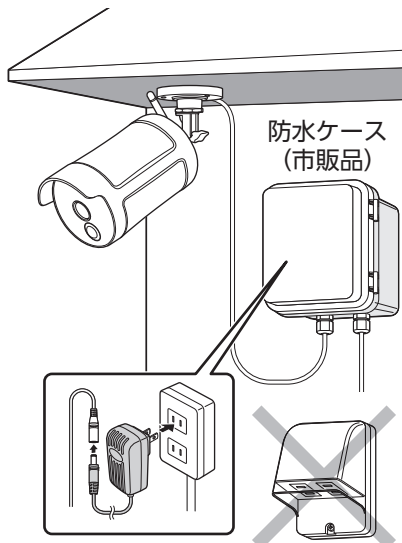
- 1 自己融着テープ(市販品)は、長さ1.5倍に引き張りながら巻き付けます。巻き終わったら指でおさえて密着してください。



- 2 その上に、ビニルテープ(市販品)をすき間のないように巻き付けます。



防水ケースを使用する場合



増設用カメラを登録するとき

増設用カメラ (WSS1C ※1、※2 または WSS2C) を使用するときは、カメラと液晶モニターをペアリングしてください。詳細は、「増設カメラを液晶モニターに登録する」(⇒ 45 ページ) を参照してください。

※ 1：液晶モニターとカメラ間で音声の通話ができます。

※ 2：センサーライトの機能があります。

microSD カードに録画する

- 市販の microSD カードまたは市販の外付けハードディスクを使用して映像を録画できます。別途ご用意ください。外付けハードディスクを使用される場合は、➡ 31 ページを参照してください。
- microSD カードは、エレコム製の MLC タイプ（書き換えに強い高耐久型）を使用することをお勧めします。
- microSD カードの詳細は、➡ 12 ページを参照してください。
- microSD カードは初期化してから使用してください。（➡ 53 ページ）
- microSD カードに保存された録画ファイルをパソコンに取り込むことができます。

重要

- microSD カードの抜き差しをするときは、液晶モニターの電源を OFF にしてください。電源が入ったまま、抜き差しすると microSD と液晶モニターが破損するおそれがあります。
- 外付けハードディスクを接続している場合は、外付けハードディスクに優先して録画します。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や microSD カードに不具合が起り使用できない場合があります。
重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- 初期設定は、「上書き録画する」になっています。上書き録画をしない場合は、➡ 55 ページを参照し、変更してください。

1 液晶モニターの電源を OFF にする

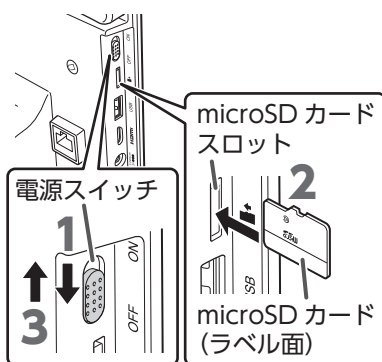
2 液晶モニターの microSD カードスロットに microSD カードを挿入する

microSD カードのラベル面を液晶モニター背面側にして、「カチッ」と音がするまで、しっかりと確実に押し込みます。

3 液晶モニターの電源を ON にする

画面に microSD カードの状態アイコン (📁) が表示されます。

microSD カードを認識しない場合は、液晶モニターの電源を OFF にして microSD カードを抜き、再度挿入してください。



- 本製品で初期化されていない microSD カードを挿入した場合、起動時に初期化画面が表示される場合があります。本製品で使用するには、microSD カードを初期化してから使用してください。（➡ 53 ページ）
- microSD カードを初期化すると、microSD カード内のデータは消去されます。事前にバックアップを取って大切なデータを保管することをお勧めします。

4 録画する

録画方法には、マニュアル録画、スケジュール録画、モーショントラッキング録画の3つの方法があります。

詳細は、「録画方法と時間・曜日を設定する」(➡ 50 ページ)を確認してください。

●録画時間の目安

録画時間の目安は、使用環境によって異なります。

カメラ 1 台の場合

画質	microSD カード容量						
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB	200GB	256GB
HD	8 時間	17 時間	34 時間	69 時間	139 時間	218 時間	280 時間
Full HD	5 時間	11 時間	22 時間	45 時間	90 時間	141 時間	181 時間

カメラ 4 台の場合 (カメラ 1 台当たり)

画質	microSD カード容量						
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB	200GB	256GB
HD	2 時間	4 時間	9 時間	18 時間	37 時間	58 時間	74 時間
Full HD	1 時間	3 時間	7 時間	15 時間	30 時間	47 時間	60 時間

外付けハードディスクを接続する

- ・市販の外付けハードディスクに映像を録画できます。
- ・microSD カードを挿入している場合でも、外付けハードディスクに優先して録画します。
- ・外付けハードディスクは初期化してから使用してください。(➡ 53 ページ)
- ・外付けハードディスクに保存された録画ファイルをパソコンに取り込むことができます。

重要 外付けハードディスクの接続をするときは、液晶モニターの電源を必ず OFF にしてください。

1 液晶モニターの電源を OFF にする

2 液晶モニターの USB 端子に外付けハードディスクを接続する

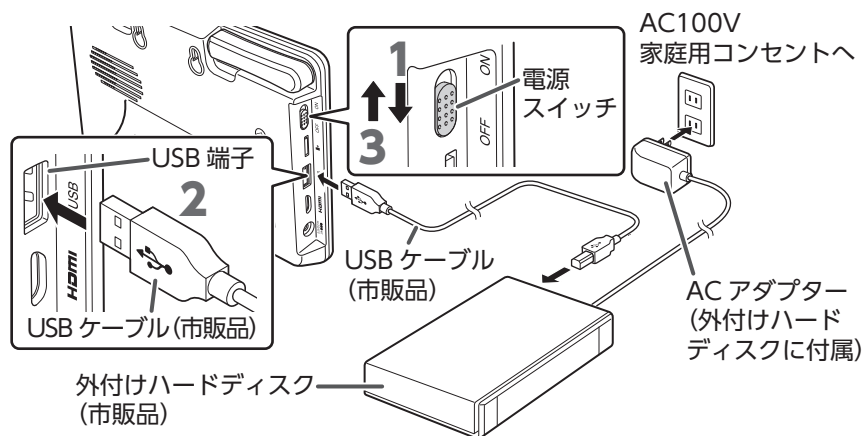
市販の USB ケーブルで外付けハードディスクと接続してください。

- ・外付けハードディスクに AC アダプターが付属されていた場合は、外付けハードディスクに AC アダプターを差し込み、AC コンセントに AC アダプターを差し込みます。
- ・外付けハードディスクの電源が入っていることを確認してください。

3 液晶モニターの電源を ON にする

画面に外付けハードディスクの状態アイコン (📁) が表示されます。

外付けハードディスクを認識しない場合は、液晶モニターの電源を OFF にして外付けハードディスクを取り外し、再度接続してください。



- ・本製品で初期化されていない外付けハードディスクを接続した場合、起動時に初期化画面が表示される場合があります。本製品で使用するには、外付けハードディスクを初期化してから使用してください。(➡ 53 ページ)
- ・外付けハードディスクを初期化すると、外付けハードディスク内のデータは消去されます。事前にバックアップを取って大切なデータを保管することをお勧めします。

●録画時間の目安

録画時間の目安は、使用環境によって異なります。

カメラ台数	画質	外付けハードディスク容量		
		500GB	1TB	2TB
1 台	HD	530 時間	1050 時間	2100 時間
	Full HD	351 時間	703 時間	1406 時間
4 台	HD	145 時間	289 時間	578 時間
	Full HD	118 時間	235 時間	468 時間

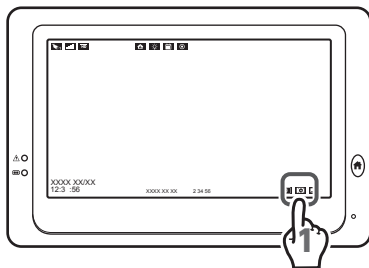
外付けハードディスクを取り外す

下記の手順に従って、外付けハードディスクを取り外してください。

重要 「外付けハードディスクを取り外す」をしないで、外付けハードディスクを取り外すと、録画データの破損や故障の原因となります。

- 1 液晶モニターの外付けハードディスクの状態アイコン () タップする
外付けハードディスクの状態アイコンが  に切り替わります。

Remove HDD



2 外付けハードディスクを取り外す



- ① **HDD Safely Removed** の **HDD Safely Removed** の文字が消灯し、  の表示が点滅※します。

※ microSD カードが挿入されている場合、microSD カードの状態を示すアイコンに切り替わります。(➡ 36 ページ)

- ② **HDD Safely Removed** の文字が消灯すると、外付けハードディスクを安全に取り外すことができます。

※記録媒体 (microSD カードや外付けハードディスク) が接続されていない場合、  の表示は点滅し続けます。

テレビに接続する

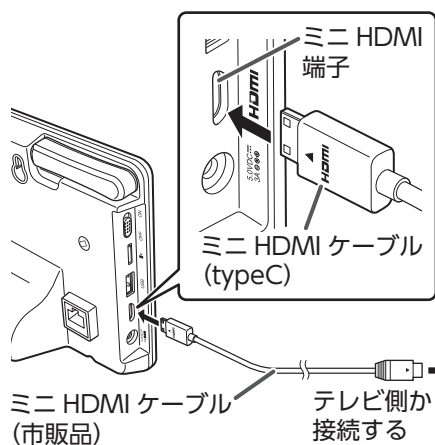
液晶モニターに市販のテレビまたはモニターを接続することで、液晶モニターと同じカメラ映像と音声をテレビで出力できます。

重要

- 液晶モニター側は typeC、テレビ側は typeA の HDMI ケーブルを使用してください。
- HDMI ケーブルは、バージョン 1.4 以上のケーブルを使用してください。
- 映像を確認する際は、テレビの入力映像を HDMI に切り替えてください。詳細は、ご使用になるテレビの取扱説明書を確認してください。
- テレビが Full HD に対応していない場合は、Full HD で出力されません。
- 液晶モニターをパワーセーブモードに設定している場合は、設定時間に応じて液晶モニターに映像が出力されませんが、テレビは出力されたままになります。テレビに映像が出力されない場合は、テレビの節電モードが ON になっていないか確認してください。

1 液晶モニターに typeC、テレビに typeA を接続する

市販のミニ HDMI ケーブルでテレビ側から接続します。



重要

HDMI ケーブルが他の端子に接触すると液晶モニターの電源が OFF になります。OFF になったときは、AC アダプターを使用して再度、電源を ON にしてください。

テレビ (市販品)

2 テレビの入力切替を HDMI にする

※テレビに接続した HDMI の番号と入力切替の番号を合わせてください。

3 (テレビ出力) をタップする (⇒ 34 ページ)

テレビにカメラ映像画面 (ライブビュー画面) が表示されます。

※テレビにカメラ映像画面 (ライブビュー画面) が表示されている間は、液晶モニターには画面は表示されません。

※液晶モニターにカメラ映像画面 (ライブビュー画面) を表示するときは、 (メニューボタン) を押してください。

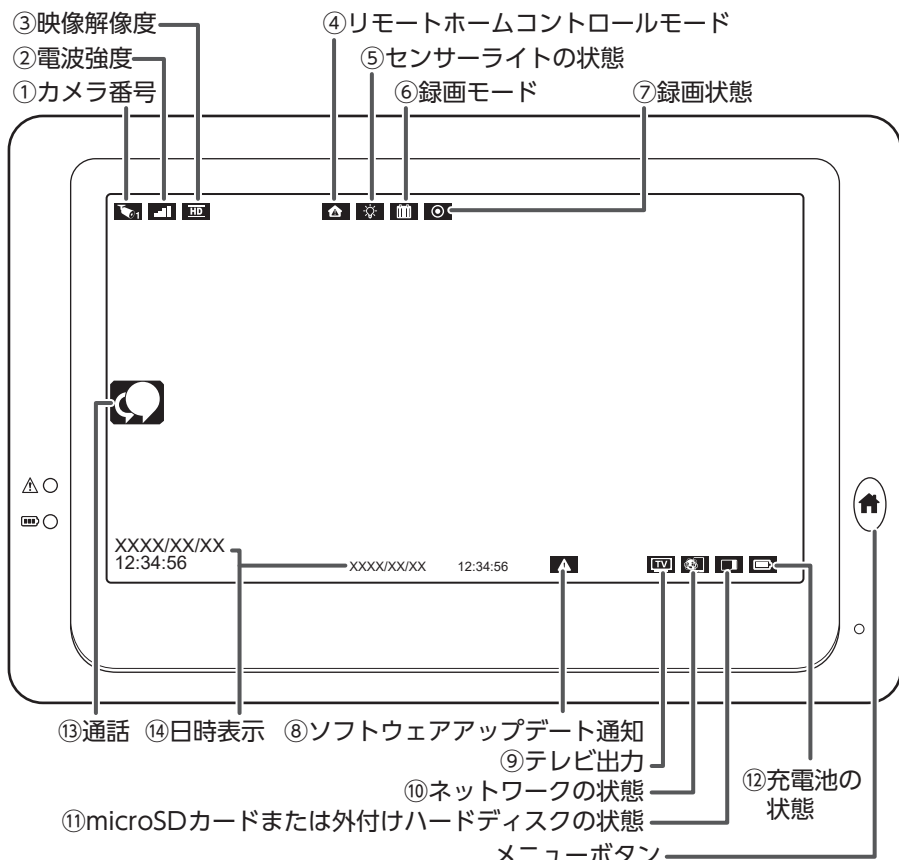


アイコンの表示が切れる場合は、テレビの設定を変更してください。

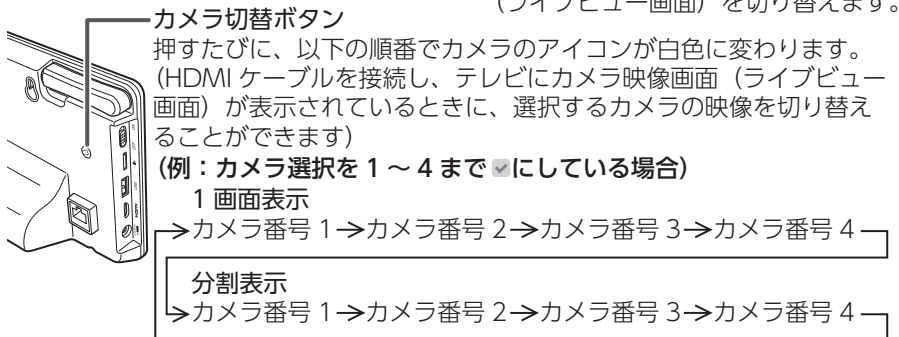
画面のアイコン

下記のアイコンの表示は、すべて表示されている場合です。
(設定や接続によって表示されないアイコンがあります)

液晶モニター正面



液晶モニター背面



待機状態のときは、 (メニューボタン) を 2 回押します。

① カメラ番号 (⇒ 48 ページ)

1 画面表示時

選択中のカメラ番号を表示します。

分割表示時

分割表示中にカメラ番号を示します。

 (白色)：カメラの映像と音声出力

 (青色)：カメラの映像のみ出力

カメラが液晶モニターにペアリング(登録)されていない、またはアンリンク*のときはが表示されます。カメラ選択の設定がのときは、

OFFが表示されます。

※アンリンクとは、カメラとの接続ができていない状態

- ・圏外(カメラと液晶モニターが通信できない状態)のとき
- ・カメラの電源が入っていないとき

② 電波強度

液晶モニターが受信している電波の強さを示します。

受信強度が3本以下の場合、映像が途切れる場合があります。詳細は、「カメラ設置の確認事項」(⇒ 23 ページ)を参照してください。



③ 映像解像度 (⇒ 40 ページ)

表示している映像の解像度を示します。

：Full HD(1920H × 1080V)

：HD(1280H × 720V)

④ リモートホームコントロールモード (⇒ 84 ページ)

センサー(別売品)のセンサーモードを示します。センサーが検知すると赤色点滅します。

センサーの詳細については、ご使用のセンサーの取扱説明書を確認してください。

：外出モード

：ホームモード

：APPモード

：ロックモード(センサーの検知をOFFにします。このモードのときは、赤色点滅しません。)

⑤ センサーライトの状態 (カメラ(WSS1C)使用時のみ)

カメラのセンサーライトの状態を示します。

：点灯

：消灯

タップすると、消灯/点灯が切り替わります。

分割表示中は表示されません。

⑥ 録画モード (⇒ 50 ページ)

録画方法を示します。

：モーション検知録画

(モーション検知録画開始時)

：スケジュール録画

⑦ 録画状態

録画状態を示します。

 (赤色)：録画中

 (白色)：録画停止中

タップすると、 (赤色) /  (白色) が切り替わります。(スケジュール録画のときは切り替えることができません。)

⑧ ソフトウェアアップデート通知 (⇒ 65 ページ)

最新のソフトウェアにアップデートすることができます。

表示されていないときは、ソフトウェアが最新です。

⑨ テレビ出力

市販のテレビまたはモニターに液晶モニターと同じカメラ映像と音声を出力するときにタップします。

⑩ ネットワークの状態 (⇒ 73 ページ)

ネットワーク接続状態を示します。

非表示 : ネットワークに未接続

赤色点灯 : ネットワークに接続 (通信なし)

黄色点灯 : インターネットに接続中

緑色点灯 : homeView (専用アプリ) と接続中 (homeView にカメラ映像画面 (ライブビュー画面) が表示されます)

⑪ microSD カードまたは外付けハードディスクの状態

microSD カードスロットに挿入した microSD カード、または USB 端子に接続した外付けハードディスクの状態を示します。

 (白色) : microSD カード挿入中

 (赤色点滅) : microSD カードの空き容量なし

 (白色) : ハードディスク接続中

 (赤色点滅) : ハードディスクの空き容量なし

 (赤色点滅) : microSD カード未挿入またはハードディスク未接続

⑫ 充電電池の状態

内蔵充電電池の残量を示します。

充電レベル : 
なし → 満充電

付属のモニター用 AC アダプターで、液晶モニターの内蔵充電電池を充電できます。

 : 充電中

⑬ 通話 (⇒ 44 ページ)

(カメラ (WSS1C) 使用時のみ)

押し続けている間、液晶モニターのマイクからカメラに送話できます。

 が表示中は液晶モニターからカメラへ通話できます。

⑭ 日時表示

現在の日付と時刻を示します。

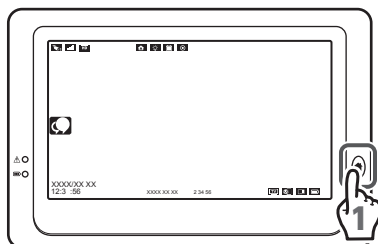
メニュー画面の表示

メニューの操作方法

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。

待機状態のときは、🏠（メニューボタン）を2回押します。



2 設定するメニューをタップする

設定画面が表示されます。

無操作状態で1分間経過すると、カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



メニュー画面

3 サブメニューをタップする

詳細設定が表示されます。

サブメニュー

🔍：1つ前の画面に戻ります。
🏠：カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



設定画面

4 詳細を設定する

🔍：1つ前の画面に戻ります。
🏠：カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。

重要

設定中は、カメラからの音声は聞こえません。



詳細設定画面

メニュー一覧

メニュー	サブメニュー	参照
 カメラ&センサー ・カメラ、センサーライトの設定を変更します。 ・別売りのセンサー※の状態確認ができます。	ペアリング	➡ 45 ページ
	カメラ選択	➡ 47 ページ
	解像度	➡ 40 ページ
	映像の明るさ	➡ 41 ページ
	フリッカー防止	➡ 39 ページ
	センサーライト設定	➡ 42 ページ
	リモートホームコントロール	➡ 84 ページ
 録画 録画の設定を変更します。 録画モードなどの設定および microSD カードまたは外付けハードディスクを初期化します。	モーション検知	➡ 49 ページ
	録画モード	➡ 50 ページ
	録画時間	➡ 52 ページ
	録画管理	➡ 53 ページ ➡ 55 ページ
 システム設定 システムの設定を変更します。 日時設定などの基本設定を変更します。	日時設定	➡ 61 ページ
	パワーセーブ	➡ 62 ページ
	初期化	➡ 63 ページ
	言語	➡ 64 ページ
	ソフトウェアアップデート	➡ 65 ページ
	ネットワーク	➡ 71 ページ
	タイムゾーン	➡ 67 ページ
 アラート アラート（警報音）の設定を変更します。	モーションアラート	➡ 69 ページ
	Unlink アラート	
	バッテリー残量低下アラート	
	アラート音量	➡ 68 ページ
	繰返し間隔	➡ 70 ページ
 再生 録画した映像と音声を再生します。	再生	➡ 56 ページ
 音量 液晶モニターの音量を調整します。	音量	➡ 60 ページ

※ 下記の 3 種類の別売りセンサーの状態を確認することができます。

ドアセンサー：ドアまたは窓の開閉を検知して、液晶モニターにアラートを（型番：WSSDS）表示します。

人感センサー：温度の変化を検知して、液晶モニターにアラートを表示します。（型番：WSSPS）（人感センサーの前を人が横切ると反応します。）

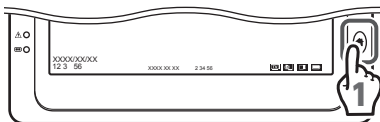
温湿度センサー：10 分に一度測定し、設定した温度・湿度の上限 / 下限から（型番：WSSTS）外れると検知し、アラートを表示します。

周波数を設定する

液晶モニター画面がちらつく場合などは、この設定を変更することで、ちらつきを解消できる場合があります。

1 液晶モニターの (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「カメラ & センサー」をタップする

カメラ設定画面が表示されます。

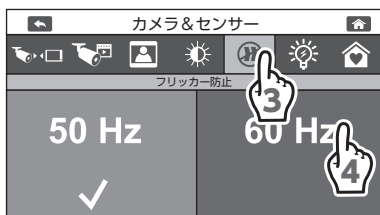
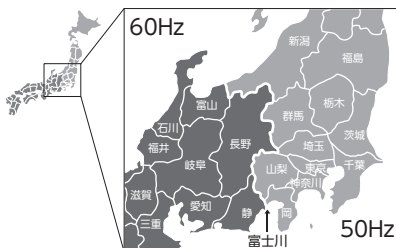


3 (フリッカー防止) をタップする

4 ご利用の地域の周波数をタップする

50Hz: 東日本

60Hz: 西日本 (出荷時設定)



確認画面が表示されます。

5 をタップして、設定を保存する

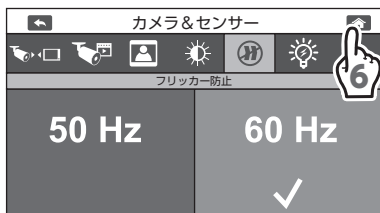
設定が保存されます。

 設定を中止する場合は、 をタップします。



6 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。

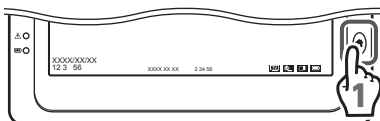


カメラの映像解像度を設定する

カメラの映像解像度を設定します。

1 液晶モニターの[▲]（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「カメラ & センサー」をタップする

カメラ設定画面が表示されます。



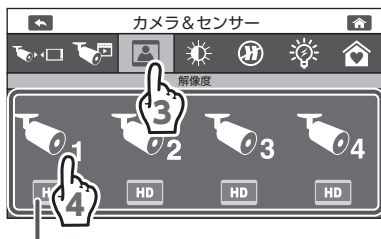
3 （解像度）をタップする

4 映像解像度を設定するカメラのカメラ番号（1～4）をタップする

タップするたびに **HD** と **Full HD** が切り替わります。

HD : 1280H × 720V（出荷時設定）

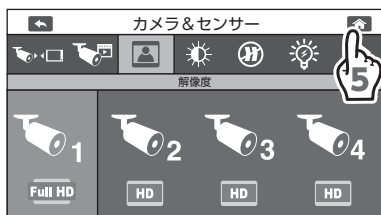
Full HD : 1920H × 1080V



設定された解像度が表示されます。

5 （ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。

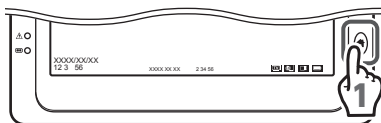


カメラの明るさを設定する

カメラ映像の明るさを設定します。

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「カメラ & センサー」をタップする

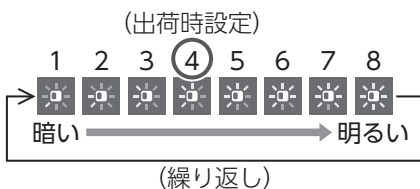
カメラ設定画面が表示されます。



3 🌞（映像の明るさ）をタップする

4 映像の明るさを設定するカメラのカメラ番号（1～4）をタップする

タップするたびに明るさ（8段階）が切り替わります。



5 🏠（ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



センサーライトの明るさと点灯時間を設定する (カメラ(WSS1C)使用時のみ)

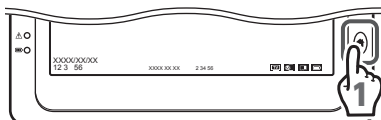
センサーライトの明るさを設定する

別売品のカメラ (WSS1C) を使用すると、モーション検知または手動でカメラのセンサーライトを点灯させたときのセンサーライトの明るさを設定できます。

重要 カメラの周囲が明るいと動体を検知しても点灯しません。

1 液晶モニターの🏠 (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「カメラ & センサー」をタップする

カメラ設定画面が表示されます。



3 🌞 (センサーライト設定) をタップする

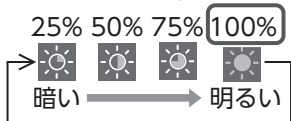
4 🌞 (センサーライトの明るさ) をタップする

センサーライトの明るさ設定が表示されます。

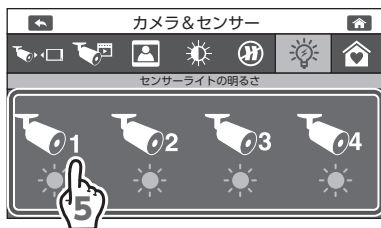


5 センサーライトの明るさを設定するカメラのカメラ番号 (1 ~ 4) をタップする

タップするたびに明るさ (4 段階) が切り替わります。

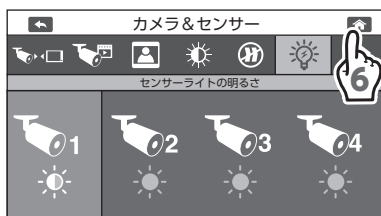


(繰り返し)



6 🏠 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。

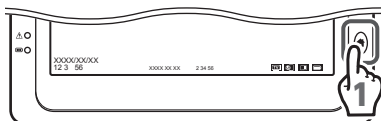


センサーライトの点灯時間を設定する

別売品のカメラ (WSS1C) を使用すると、モーション検知または手動でカメラのセンサーライトを点灯させたときのセンサーライトの点灯時間を設定できます。(設定した時間で消灯します。) 点灯時間をオフに設定しているときに、手動でセンサーライトを点灯させたときは、5 分後に消灯します。

1 液晶モニターの (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「カメラ & センサー」をタップする

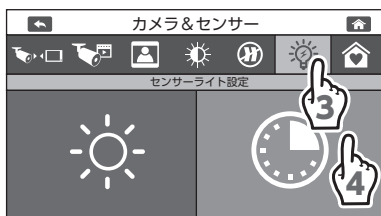
カメラ設定画面が表示されます。



3 (センサーライト設定) をタップする

4 (センサーライト点灯時間) をタップする

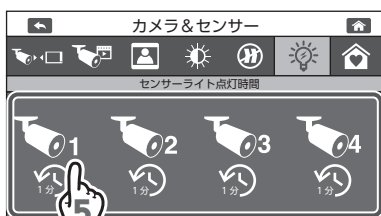
センサーライト点灯時間設定が表示されます。



5 センサーライトの点灯時間を設定するカメラのカメラ番号 (1～4) をタップする

タップするたびに点灯時間 (1 分、3 分、5 分、オフ (点灯しない)) が切り替わります。

出荷時設定: 1 分



6 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。



カメラのセンサーライトを手動で点灯 / 消灯する

別売品のカメラ (WSS1C) を使用すると、カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に表示されている  をタップすると、カメラのセンサーライトを点灯 / 消灯できます。

 : タップするたびに、 (点灯) と  (消灯) が切り替わります。

また、「センサーライトの点灯時間を設定する」で設定した時間で、自動で消灯します。

重要 分割表示中は操作できません。

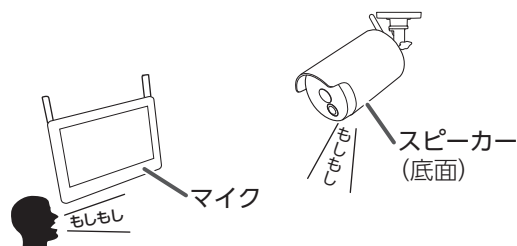
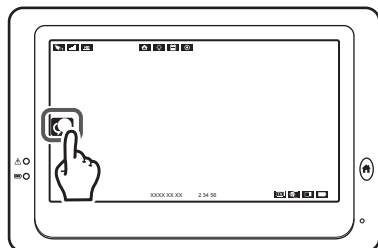
通話機能を使用する (カメラ(WSS1C)使用時のみ)

別売品のカメラ（WSS1C）と液晶モニターにはそれぞれマイクとスピーカーが搭載されています。

液晶モニターのマイクからカメラに送話できます。

カメラへ音声を発話する

（通話）をタップし続けたまま、液晶モニターのマイクに向かって話すことでカメラのスピーカーから音声を発話できます。タップ中は、青色の（通話）に表示が切り替わります。



- 液晶モニターで（通話）をタップし続けている間は、カメラの音声は聞こえません。（同時通話には対応していません。）
- （通話）を離すと、元の状態（カメラの音声のみが聞こえる状態）に戻ります。
- カメラのスピーカーの音量を液晶モニターで調整することはできません。

重要 分割表示中は操作できません。

液晶モニターから音声を発話する

別売品のカメラ（WSS1C）のマイクからの音声は自動で液晶モニターのスピーカーから発話されます。

液晶モニターのスピーカーから発話された音量は調整できます。（➡ 60 ページ）

増設カメラを液晶モニターに登録する

カメラを2台以上使用する場合は、増設するカメラと液晶モニターをペアリング（登録）します。

- 複数台のカメラをペアリング（登録）する場合、1台ずつペアリング（登録）してください。
- 増設用カメラは追加で最大3台までペアリング（登録）できます。

重要

カメラを増設するときは、必ずペアリング（登録）を実施してください。またペアリング（登録）するときは、カメラと液晶モニターを近づけた状態で実施してください。

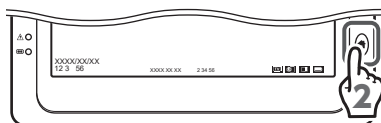


増設する場合は、専用の増設用カメラ「増設用センサーライト付ワイヤレスフルHDカメラ（WSS1C）」または「増設用ワイヤレスフルHDカメラ（WSS2C）」をお買い求めください。

1 追加するカメラの電源を入れる（⇒ 18 ページ）

2 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



3 「カメラ & センサー」をタップする

カメラ設定画面が表示されます。



4 📷（ペアリング）をタップする

5 登録するカメラ番号（1～4）をタップする



6 が表示される

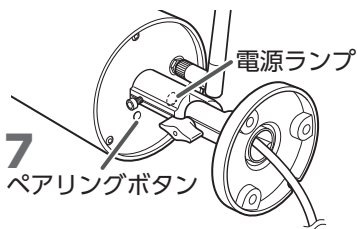
重要

すでにペアリング（登録）されているカメラ番号をタップして再度ペアリング（登録）すると、カメラ番号のペアリング（登録）が書き登録されます。



7 30 秒以内にカメラのペアリングボタンを押す

カメラの電源ランプが赤色点滅を開始します。



（イラスト：WSS1C）

8 ペアリング（登録）が成功すると、カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻り、登録したカメラの映像が表示される

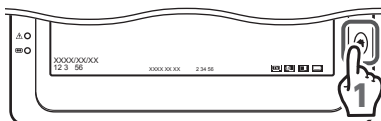
 を表示中にペアリング（登録）ができなかったときは、  が表示されます。再度、ペアリング（登録）をやり直してください。

液晶モニターに表示するカメラを選択する

カメラを2台以上ペアリング(登録)しているときに、表示するカメラを選択します。複数台のカメラを選択すると、カメラを切り替えて表示したり、カメラ映像を分割して液晶モニターに表示できます。

1 液晶モニターの🏠 (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「カメラ & センサー」 をタップする

カメラ設定画面が表示されます。



3 📷 (カメラ選択) をタップする

4 液晶モニターに表示するカメラのカメラ番号 (1 ~ 4) をタップする

タップするたびに ☒ と ☐ が切り替わりします。

☒ : 液晶モニターに表示する
ペアリングすると自動で ☒ になります。

☐ : 液晶モニターに表示しない



5 🏠 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。



6 登録した番号のカメラに切り替えて、映像が出力されていることを確認する

重要

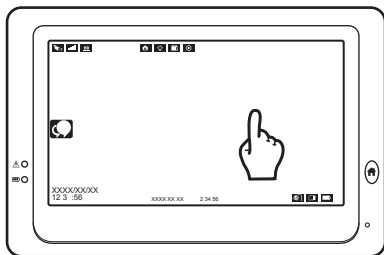
電源スイッチを OFF にし、再度電源スイッチを ON にすると、一番小さい番号のカメラ映像画面 (ライブビュー画面) が表示されます。

カメラの映像を分割表示する

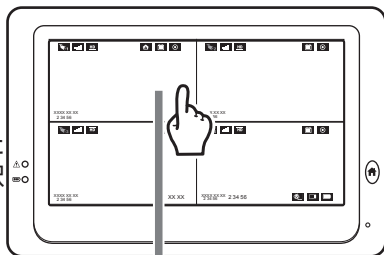
カメラ選択を 2 台以上選択している場合は、画面を分割して各カメラの映像を表示できます。(カメラ選択画面で  が入っているカメラ番号を表示します)

1 画面表示中に画面をタップすると、カメラ選択を 2 台選択している場合は 2 分割表示、カメラ選択を 3 台または 4 台選択している場合は 4 分割表示になります。

1 画面表示

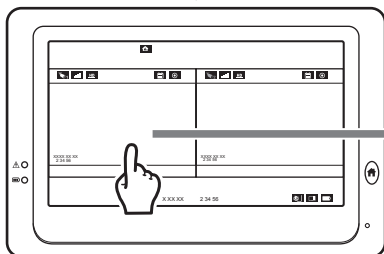


4 分割表示



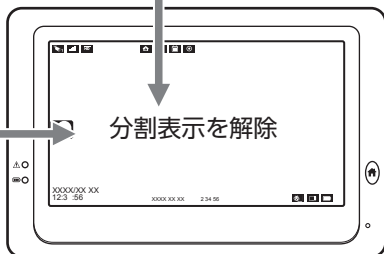
カメラ選択を 3 台または 4 台選択している場合

2 分割表示



カメラ選択を 2 台選択している場合

1 画面表示



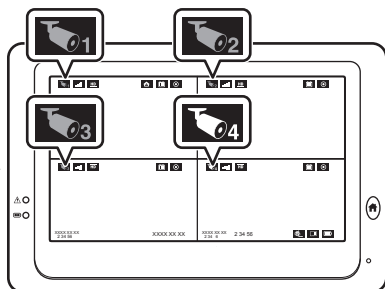
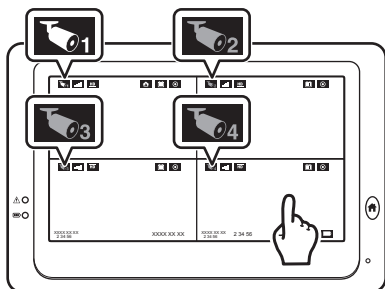
分割表示を解除

映像と音声を出力しているカメラの映像をタップすると、分割表示が解除されます。

 映像と音声を出力しているカメラは、カメラ番号アイコンが白色 () で表示されます。

音声を出力するカメラを切り替える場合は、カメラ番号アイコンが青色 () になっているカメラの映像の中から音声を出力したいカメラの映像をタップします。

(カメラ番号 1 の音声を出力)



(カメラ番号 4 の音声を出力)

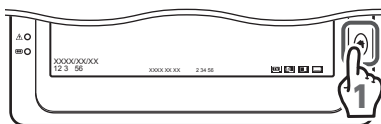
テレビにカメラ映像画面 (ライブビュー画面) が表示されているときに、液晶モニターの背面にあるカメラ切替ボタンを押しても切り替えることができます。(➡ 34 ページ)

モーション検知感度を設定する

モーション検知で録画を開始するときの検知感度を設定します。
モーション検知は、約 30 秒録画します。検知し続けると継続して録画します。

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「録画」をタップする

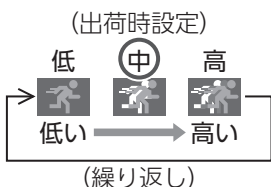
録画設定画面が表示されます。



3 🚶（モーション検知）をタップする

4 検知感度を設定するカメラのカメラ番号（1～4）をタップする

タップするたびに検知感度（3段階）が切り替わります。



5 🏠（ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



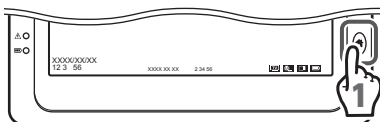
録画方法と時間・曜日を設定する

録画する曜日と時間帯を設定します。

録画方法は、モーション検知録画、スケジュール録画、マニュアル録画の3種類があります。(スケジュール録画およびモーション検知録画のとき、ファイルに残る映像は録画開始時刻の8秒前からの時間になります)

1 液晶モニターの🏠 (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。

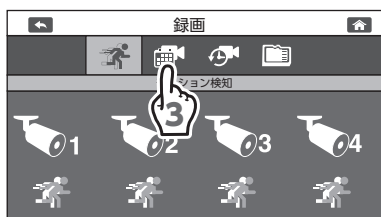


2 「録画」をタップする

録画設定画面が表示されます。



3 📺 (録画モード) をタップする



4 録画モードを設定するカメラのカメラ番号 (1 ~ 4) をタップする

重要 カメラごとの設定です。1台ずつ設定してください。

詳細設定

録画したい時間帯の録画方法を設定する

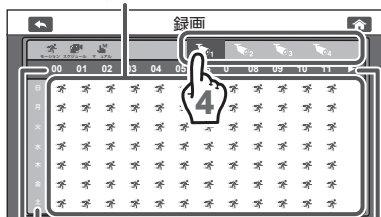
タップするたびに録画モードが切り替わります。

👤 (モーション検知録画) (出荷時設定) :
モーションセンサーで検知したときのみ録画します。

📺 (スケジュール録画) :
選択した時間帯を録画します。
(1時間単位でのみ設定できます。)

👤 (マニュアル録画) :
手動で録画します。モーション検知しても録画されません。

詳細設定



曜日

曜日帯をタップすると、午前または午後の曜日単位で録画モードを一括設定できます。

時間帯

時間帯をタップすると、時間帯単位で録画モードを一括設定できます。

午後

▶をタップすると、午後の時間帯に切り替わります。
午前にするときは、画面左側の◀をタップします。

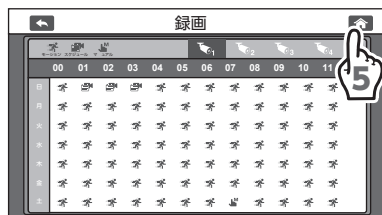
- マニュアル録画またはモーション検知録画での録画方法
液晶モニターの録画状態アイコンをタップするたびに、 (赤色) (録画開始) と  (白色) (録画停止) が切り替わります。



- 24 時間 365 日分を録画したいときは、すべての曜日と時間帯をスケジュール録画に設定します。
- スケジュール録画に設定したときは、モーション検知録画は作動しません。

5 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。



重要

- すべての曜日と時間帯をスケジュール録画に設定している場合
 - microSD カードを取り出すときは、液晶モニターの電源を OFF にしてから取り出してください。
 - 外付けハードディスクを取り外すときは、外付けハードディスクの取り外し (⇒ 32 ページ) を行ってください。
- 液晶モニターに、microSD カードを挿入し、外付けハードディスクを接続している場合、外付けハードディスクへの録画を優先して行います。
- 設定は 1 時間単位のみですが、検知したタイミングによっては、設定時間を超えて録画されることがあります。



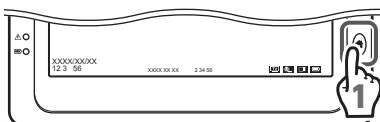
- 設定した時間帯と現在の時間が重なっている場合は、すぐに設定された録画モードで動作します。
- 本製品の電源を OFF にすると、録画を停止し、音声も録音されません。(録画モードの設定は継続されます)

録画時間(録画ファイルの設定時間)を設定する

スケジュール録画およびマニュアル録画の1ファイルの録画時間を設定します。設定した時間ごとにファイルを保存し、録画ファイルが分割されます。

1 液晶モニターの[▲](メニューボタン)を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「録画」をタップする

録画設定画面が表示されます。



3 (録画時間)をタップする

4 1ファイルの録画時間(5分、10分、15分)をタップする

出荷時設定：5分

重要

マニュアル録画の場合、設定した時間ごとにファイルができ、録画は継続されます。



5 (ホーム)をタップする

カメラ映像画面(ライブビュー画面)に戻ります。



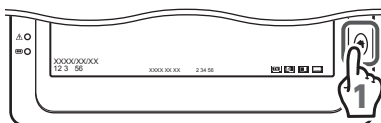
microSD カード / 外付けハードディスクを初期化する

microSD カードまたは外付けハードディスクを初期化すると、microSD カードまたは外付けハードディスク内のデータは消去されます。大切なデータは、事前にバックアップを取って保管することをお勧めします。

重要 microSD カードを挿入している場合でも、外付けハードディスクを接続している場合は、外付けハードディスクが優先されます。microSD カードを初期化する場合は、外付けハードディスクを接続しないでください。

1 液晶モニターの[↑]（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「録画」をタップする

録画設定画面が表示されます。



3 または （録画管理）をタップする

外付けハードディスクを接続している場合のみ、（ハードディスク）表示になります。



4 「初期化」をタップする

: microSD カードを初期化

: 外付けハードディスクを初期化

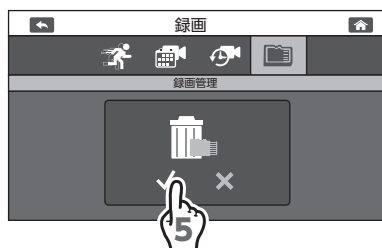
5 ✓をタップする

初期化が開始されます。初期化には 10 分程度かかることがあります。

重要 初期化中は電源を OFF にしないでください。

初期化をしない場合は、 をタップします。

初期化に失敗した場合は、再度手順 4 からやり直してください。



6 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



重要

初期化を実行すると空の MFG フォルダと LOG フォルダが作成されます。MFG には録画ファイル、LOG にはセンサーのログが保存されます。初期化した場合、MFG フォルダ内のデータ、LOG フォルダ内のデータ、それ以外のデータをすべて削除しますので注意してください。

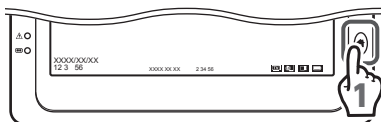
上書き録画を設定する

録画に使用している microSD カード、または外付けハードディスクの空き容量がなくなったときに、録画ファイルを上書き録画するかどうかを設定します。

重要 録画ファイルを指定して、保護することはできません。

1 液晶モニターの上 (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「録画」 をタップする

録画設定画面が表示されます。



3 外付けハードディスクまたはハードディスク (録画管理) をタップする

外付けハードディスクを接続している場合のみ、ハードディスク) 表示になります。



4 上書き録画を設定する

タップするたびに「上書き録画する」と「上書き録画しない」が切り替わります。

上書き録画する : microSD カード、または外付けハードディスクの空き容量 (出荷時設定) がなくなったときに、日付の古い録画ファイルを消去しながら、新しい録画ファイルを保存します。

上書き録画しない : microSD カード、または外付けハードディスクの空き容量がなくなると録画が停止され、それ以上録画することができません。

- 重要**
- 録画が停止しないように、「上書き録画する」にしておくことをお勧めします。
 - 「上書き録画する」の場合、古いファイルから順に上書きされます。注意してください。

5 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。

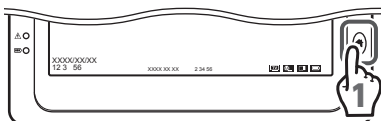


録画した映像を再生する

録画したカメラの映像を再生します。

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「再生」をタップする

今月のカレンダーが表示されます。



3 再生する録画ファイルの撮影された日付をタップする

タップした日付の録画ファイル一覧が表示されます。

 録画ファイルが保存されている日付のみボタンで表示されます。ボタンが表示されていない日付は、録画ファイルがありません。

- カメラ番号をタップして🚗から🚒に切り替えると、カメラ番号の映像が録画ファイル一覧に表示されません。
- ◀（前の月を表示） / ▶（次の月を表示）でカレンダーを切り替えができます。



4 再生する録画ファイルをタップする

再生画面が表示されます。

ファイル名列

205724D1

カメラ番号

D : モーション検知録画

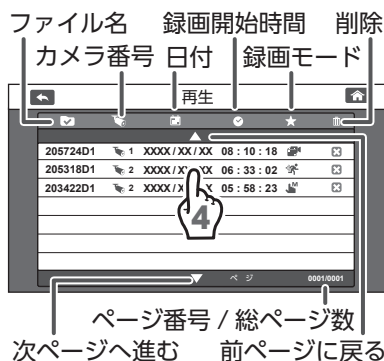
M : マニュアル録画

S : スケジュール録画

録画開始時間

重要

録画ファイルを再生中は、再生中の音声のみが聞こえます。



5 (再生) をタップする

録画ファイルが再生されます。

再生画面の操作ボタン

▶ (再生)	録画ファイルを再生します。
(一時停止)	再生しているファイルを一時停止します。
2x ⏮ (早戻し)	タップするたびに5段階 (2X/4X/8X/16X) で再生速度が速くなります。
⏭ 2x (早送り)	▶ (再生) をタップすると、通常再生になります。



録画ファイルを拡大または縮小することはできません。



カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻る

録画ファイル画面に戻る

録画を開始した日付と時間
(スケジュール録画およびモーション検知録画のときは、録画時間は8秒前の時間になります)

6 再生終了後、再生画面で停止します。

⏮または⏭で画面の表示を変更してください。

はじめに

準備／設置

カメラ設定／通話

録画／再生

システム設定

アラート設定

インターネット接続

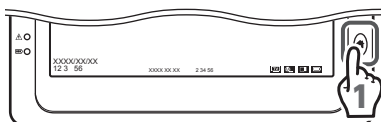
その他

録画ファイルを削除する

保存されている録画ファイルを個別に削除できます。
(複数の録画ファイルをまとめて削除することはできません。)

1 液晶モニターの HOME (メニューボタン)を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「再生」をタップする

今月のカレンダーが表示されます。



3 削除する録画ファイルの撮影された日付をタップする

タップした日付の録画ファイル一覧が表示されます。

録画ファイルが保存されている日付のみボタンで表示されます。

- カメラ番号をタップして CAM1 から CAM2 に切り替えると、カメラ番号の映像が録画ファイル一覧に表示されません。
- ◀ (前の月を表示) / ▶ (次の月を表示) でカレンダーを切り替えができます。



4 削除する録画ファイルの X (削除) をタップする

確認画面が表示されます。



5 をタップする

録画ファイルが削除されます。

 削除を中止する場合は、 をタップします。

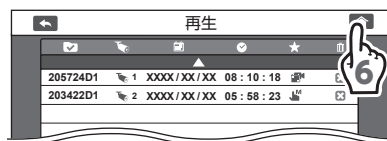
重要

- 録画ファイルは、1 ファイル単位でのみ削除できます。すべてのファイルを一度に削除する場合は、「microSD カード / 外付けハードディスクを初期化する」(⇒ 53 ページ)を行ってください。削除した録画ファイルは復元できません。注意してください。
- 複数の録画ファイルをまとめて削除する場合は、パソコンなどで削除してください。



6 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。



スピーカーからの音量を調整する

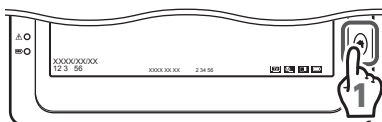
液晶モニターのスピーカーから出力する音量を調整します。
調整できる音量は、カメラのマイクからの音声になります。
検知時のアラート音は別で調整できます。(➡ 68 ページ)

重要

- カメラと液晶モニターを近くに設置していたり、音量が大きいと、ハウリング現象が起こりやすくなります。カメラと液晶モニターを離したり、音量を下げて、ハウリング現象が起こらないようにしてください。
- スピーカーからの音量を調整してもアラート音の音量は変わりません。アラート音量の設定は、「アラートの音量を設定する」(➡ 68 ページ)を参照してください。

1 液晶モニターの[↑]（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「音量」をタップする

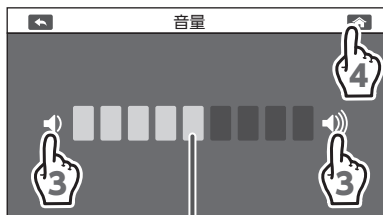
音量画面が表示されます。



3 [🔊]（音量－ボタン）または[🔊]（音量＋ボタン）をタップして音量を調整する

[🔊]：音量を小さくする（最小値：0）
最小値（0）のときは、[🔊]×が表示されます。

[🔊]：音量を大きくする（最大値：9）



（出荷時設定）

4 [🏠]（ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。

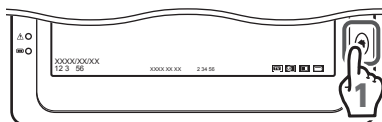
日時・時間を設定する

液晶モニターの表示や録画ファイルに記録するための日時を設定します。

重要 日時と時間は本製品を設置後設定してください。(➡ 19 ページ)

1 液晶モニターの🏠 (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



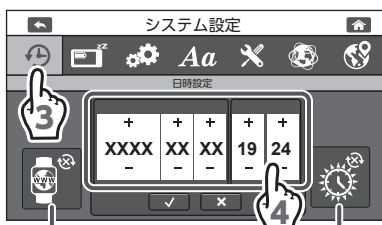
2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



3 ⌚ (日時設定) をタップする

4 「+」と「-」をタップし、日付と時刻を変更する



タイムサーバー サマータイム

液晶モニターをインターネットに接続している場合は、次の機能を設定できます。

タイムサーバー : タイムサーバーをタップして🌐 (OFF) から🌐 (ON) に切り替えると、自動で NTP (ネットワークタイムプロトコル) のタイムサーバーに同期して、日時が設定されます。
タイムサーバーが ON のとき、手動での日時設定はできません。

サマータイム : サマータイムをタップして🌞 (OFF) から🌞 (ON) に切り替えると、サマータイムが適用されます。

5 ✓ をタップする

日時が設定されます。

✎ 設定を中止する場合は、✖ をタップします。



6 🏠 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。

重要

本製品には時計機能がありますが、月に約 1 分程度の誤差があります。常に正確な時間で録画を行うためにタイムサーバーでの日時設定を推奨します。もしタイムサーバーを使用しない場合は、定期的に正しい日時に設定してください。

パワーセーブを設定する

カメラ映像画面（ライブビュー画面）で無操作状態が一定時間経過したとき、液晶モニターをパワーセーブ（液晶モニターの画面を OFF）にします。

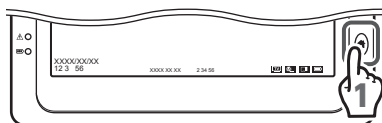
パワーセーブが動作したときは、液晶モニターの画面をタップすると、ON になります。

重要

- ・パワーセーブが動作し、液晶モニターの表示が OFF になっても、録画は継続されます。
- ・録画モードがモーション検知のとき、パワーセーブの動作中にモーションセンサーで動体を検知しても、液晶モニターの表示は ON になりません。

1 液晶モニターの （メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



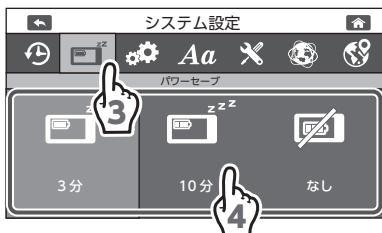
3 （パワーセーブ）をタップする

4 液晶モニターを OFF にするまでの時間をタップする

3 分：液晶モニターを 3 分後に OFF にする（出荷時設定）

10 分：液晶モニターを 10 分後に OFF にする

なし：液晶モニターを OFF にしない（パワーセーブを設定しない）



5 （ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



初期化する

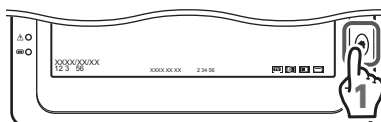
設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。



- ペアリング設定および日時設定はリセットされません。
- 録画ファイルは、削除されません。
- 液晶モニターの AC アダプターを差し込んでいない状態で電池切れになっても、設定は初期化されません。

1 液晶モニターの （メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



3 （初期化）をタップする

4 （開始）をタップする

確認画面が表示されます。

5 をタップする

初期化が開始されます。

初期化が完了すると、自動で再起動し、カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。

 初期化を中止する場合は、 をタップします。

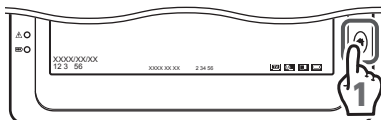


言語を設定する

メニューの表示言語を設定します。

1 液晶モニターの (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



3 **Aa** (言語) をタップする

4 メニューの表示言語をタップする

English : 英語

Español : スペイン語

日本語 : 日本語 (出荷時設定)



5 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。



ソフトウェアをアップデートする

最新のソフトウェアにアップデートします。
アップデートの有無によって表示が異なります。

 : 最新のソフトウェアが提供されている

 : 現在のソフトウェアが最新（アップデート不要）（⇒ 66 ページ）

重要 インターネット接続時のみソフトウェアアップデート設定が表示されます。

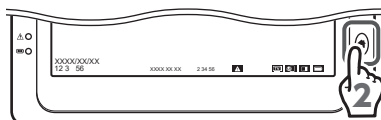
 液晶モニターをインターネット回線に接続している場合は、新しいバージョンのソフトウェアがあると、自動で検知し、カメラ映像画面（ライブビュー画面）に （ソフトウェアアップデート通知）を表示します。

1 液晶モニターをインターネット回線に接続する（⇒ 71 ページ）

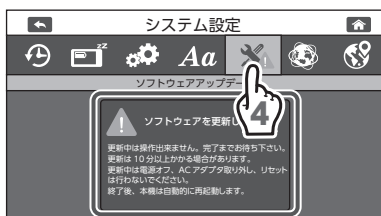
2 液晶モニターの （メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。

3 「システム設定」をタップする



4 （ソフトウェアアップデート）をタップする



5 （開始）をタップする

- ・アップデートが開始されます。
- ・アップデートには数分かかります。
- ・アップデートが完了すると、自動で再起動し、カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



重要

- ・ソフトウェアのアップデート中は、本製品の操作をしたり、液晶モニターの電源を OFF にしないでください。液晶モニターの故障の原因となります。
- ・ソフトウェアのアップデートには時間がかかる場合があります。必ず液晶モニターにモニター用 AC アダプターを差し込み、AC コンセントから電源を供給しながらアップデートしてください。

ソフトウェアバージョンを確認する

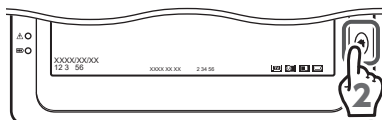
ソフトウェアが最新になっている、またはソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 液晶モニターをインターネット回線に接続する (⇒ 71 ページ)

2 液晶モニターの  (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。

3 「システム設定」をタップする



4  (ソフトウェアアップデート) をタップする



5  (ホーム) をタップする

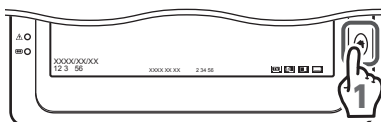
カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。

タイムゾーンを設定する

タイムゾーンを変更する場合に設定を変更できます。通常は工場出荷時のままで使用してください。

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



3 🌐（タイムゾーン）をタップする

4 タイムゾーンをタップする

時差設定が表示されます。



5 時差をタップする

6 🏠（ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。

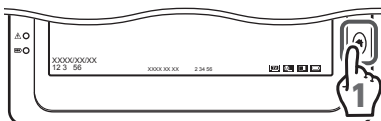


アラートの音量を設定する

アラートの音量を設定します。

1 液晶モニターの[▲]（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「アラート」をタップする

アラート設定画面が表示されます。



3 （アラート音量）をタップする

4 設定するアラートの音量をタップする

タップするたびに、設定に応じた音量で音が鳴ります。



: 音量 小



: 音量 中（出荷時設定）



: 音量 大



: 鳴らさない



重要

アラートの音量は、アラートの種類ごとに設定できません。1 種類の音量になります。

5 （ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



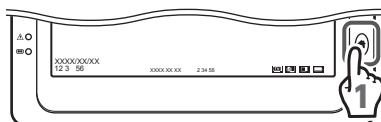
センサー（別売品）のアラート音も連動して変更されます。

アラート音を設定する

モーション検知したとき、カメラと液晶モニターの電波が届かないとき（アンリンク）、および内蔵充電電池の残量が少なくなったときのアラート音をそれぞれ3種類のアラート音に設定できます。

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「アラート」をタップする

アラート設定画面が表示されます。



3 設定するアラートの種類をタップする



：モーション検知したときのアラート音



：カメラと液晶モニターの電波が届かないとき（アンリンク）



：内蔵充電電池の残量が少なくなったとき



4 設定するアラート音をタップする



：ピッ（人型 時の出荷時設定）



：ピッ、ピッ（カメラ&モニター 時の出荷時設定）



：ピッ、ピッ、ピッ（電池 時の出荷時設定）



：アラート音なし

5 手順3と4を繰り返し、各アラートの種類に対してアラート音を設定する

6 🏠（ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



パワーセーブを「3分」または「10分」に設定している場合、パワーセーブの動作中は、アラート音が鳴っても、液晶モニターの表示はONになりません。（➡ 62 ページ）

アラートの繰り返し間隔を設定する

アラートの繰り返し間隔を設定します。

重要

アラート音が自動で止まらないときは、別売のドアセンサー、人感センサーまたは温湿度センサーが検知しています。アラート音を止めるときは、液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押してください。詳しくはご使用になる別売のセンサーの取扱説明書をご確認ください。

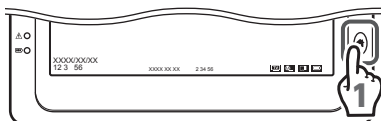


検知後、設定時間の間隔でアラート音が鳴り続けます。（パワーセーブモードでもアラート音は鳴り続けます。）

アラート音を停止する場合は、液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押してください。

1 液晶モニターの🏠（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「アラート」をタップする

アラート設定画面が表示されます。



3 ⏮️（繰り返し間隔）をタップする

繰り返し間隔設定が表示されます。

4 設定するアラートの繰り返し間隔（OFF、15 秒、30 秒）をタップする

OFF：検知時にアラートは1回だけ鳴ります。

15 秒：検知時と 15 秒ごとにアラートが鳴ります。（出荷時設定）

30 秒：検知時と 30 秒ごとにアラートが鳴ります。

アラートをキャンセルするまで設定した間隔でアラートは繰り返し鳴ります。

重要

カメラごとに設定をすることはできません。

5 🏠（ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。



ネットワークを設定する

ネットワーク情報を確認する

IP アドレスなどインターネット設定に関する情報や、機器の UID 番号などを確認できます。インターネットで接続されているルーターなどからの LAN ケーブルを接続してください。

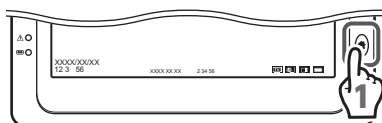
重要 インターネット接続が切れたときは、IP アドレスの設定を再度確認してください。

カメラと液晶モニターのみで使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

 初期値は「DHCP」です。通常は「DHCP」のままにしてください。DHCP サーバー機能のあるルーターなどに接続し、自動で IP アドレスを取得できます。

1 液晶モニターの (メニューボタン) を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



3 (ネットワーク) をタップする

4 ネットワーク情報を確認する



5 (ホーム) をタップする

カメラ映像画面 (ライブビュー画面) に戻ります。

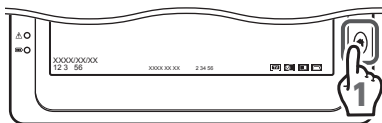


IP 設定を手動で設定する

固定IPアドレス(Static IP)で使用する場合は、手動でIPアドレスなどを設定します。

1 液晶モニターの[▲]（メニューボタン）を押す

メニュー画面が表示されます。



2 「システム設定」をタップする

システム設定画面が表示されます。



3 （ネットワーク）をタップする

4 「IP 設定」をタップする



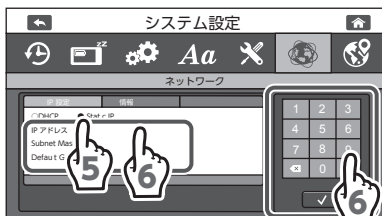
5 「Static IP」をタップする

6 各項目を設定する

- IP アドレス : IP アドレスを入力
Subnet Mask : サブネットマスクを入力
Default Gateway : デフォルトゲートウェイを入力

項目の設定方法

- ① 項目をタップする
- ② 表示されたテンキーで設定値を入力する
- ③  をタップする



7 をタップする

設定が保存されます。



8 （ホーム）をタップする

カメラ映像画面（ライブビュー画面）に戻ります。

スマートフォンでカメラの映像を見る

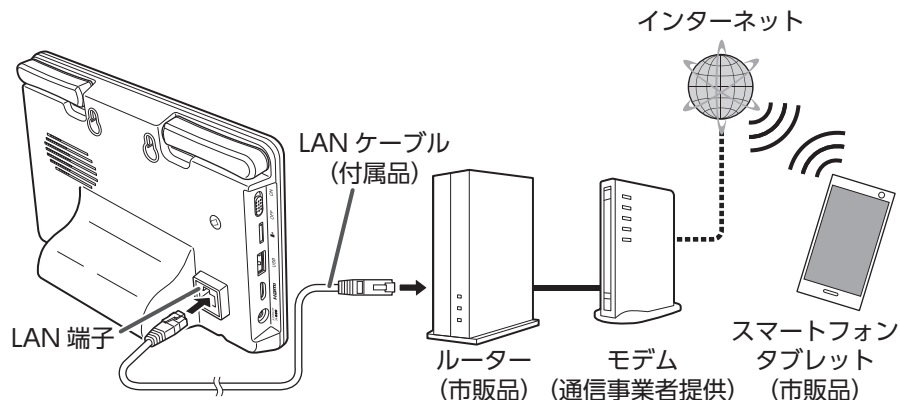
液晶モニターをネットワークに接続し、スマートフォンやタブレットからカメラの映像を見ることができます。

重要

- 本製品は、インターネットに接続せずに使用できますが、スマートフォンやタブレットで映像を見たり、ソフトウェアをアップデートするときは、インターネット環境が必要です。
- 通信事業者とのご契約内容によっては通信料金が高額になる場合があります。ご利用の際はご契約の通信事業者へ確認してください。
- スマートフォンやタブレットは同時に 4 台まで接続できますが、ネットワーク環境によっては接続できなくなったり、カメラ映像の画質が低下したりする場合があります。

インターネット回線に接続する

液晶モニターの LAN 端子とルーターを付属の LAN ケーブルで接続する



インターネット環境およびネットワーク環境によって、接続機器や接続方法は異なります。

重要

- 無線 LAN での接続はできません。
- 無線 LAN ルーターを使用している場合、他の Wi-Fi 機器と電波干渉することがあります。本製品と Wi-Fi 機器はできるだけ離して使用してください。

専用アプリ homeView (Android 版)

専用アプリ homeView をインストールする

使用する Android 端末 (Android6.0 以降) にインストールすることで使用できます。

詳しい操作方法については、下記の QR コードまたは URL より取扱説明書を確認してください。



https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/homeView_android.pdf

下記の手順 1 ~ 5 にしたがって、Android 端末にデバイスを登録してください。

※ homeView に登録できるデバイスは、以下の製品です。

- WSS シリーズの 10 インチ液晶モニターセット (別売品)
- WSS シリーズの 7 インチ液晶モニターセット
- WSS シリーズのスマート受信 BOX (別売品)

1 Google Play から homeView を検索し、インストールする

インストールが完了すると、「homeView」アイコンが作成されます。



「homeView」
アイコン

2 デバイスを登録する

デバイスを登録するために、「スキャン」をタップします。

アクセスの許可を求められた場合は、「許可」を選択してください。

← デバイス追加

デバイス設定

UID: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

スキャン 検索

名前: homeView

パスワード: _____

OK 取消

3 UID を登録する

液晶モニターの背面にある QR コードを読み取ります。

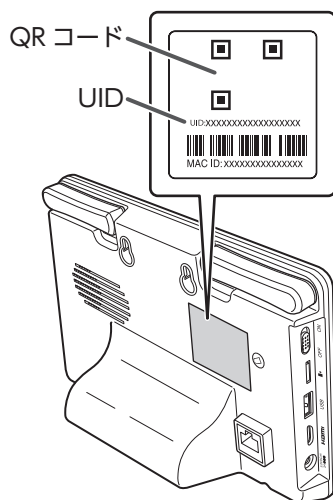
アクセスの許可を求められた場合は、「許可」を選択してください。



QR コードが読み取れない場合

次の 2 通りの方法でデバイスを登録できます。

- 「検索」をタップすると、アプリをインストールした Android 端末と同一ネットワーク内にあるデバイスを検索することができ、そこからデバイスの追加が可能です。
- 「UID」をタップして、QR コードの下側に記載されている UID を直接入力してください。



4 パスワードを入力する

パスワードに「12345」(初期値)を入力します。

5 登録を完了する

「OK」をタップします。



デバイスリスト画面

デバイスリスト画面で、登録しているデバイスを切り替えたり、デバイス名を変更したり、登録デバイスとの接続状態を確認したりすることができます。

- ① ライブビュー画面に戻る
- ② デバイスを追加する
- ③ デバイス名
- ④ 登録デバイスとの接続状態
- ⑤ プレビュー画面表示
- ⑥ UID
- ⑦ 登録デバイスの選択ボタン



① ライブビュー画面に戻る

タップすると、ライブビュー画面が表示されます。(➡ 78 ページ)

② デバイスを追加する

タップすると、デバイス追加画面が表示されます。

③ デバイス名

登録時に付けたデバイス名が表示されます。タップすると、デバイスの編集画面が表示され、デバイス名の変更とデバイスの削除ができます。

④ 登録デバイスとの接続状態

オンライン：登録したデバイスと接続済みです。ライブビュー画面の表示、録画データの再生、センサーステータスの確認などができます。

オフライン：登録したデバイスと接続されていません。以下を確認してください。

- ・デバイスリストの  をタップして、再接続してください。
(ライブビュー画面が表示されます。)
- ・ライブビュー画面で  (更新) をタップして、再接続してください。
- ・登録しているデバイスの電源を入れ直してください。
- ・インターネットに接続されていることを確認してください。
- ・登録しているデバイスに LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。
- ・登録しているデバイスの通信状態を確認してください。
- ・使用中に「オフライン」と表示されたときは、ライブビュー画面の「④更新」をタップしてください。(➡ 78 ページ)

接続中 ... : 登録しているデバイスと再接続中です。
(登録デバイスとの接続状態がオンラインまたはオフラインになるまでお待ちください。)

⑤ プレビュー画面表示

前回再生したカメラ映像が表示されます。

デバイスを登録後一度も再生していないときは、プレビュー画面には  が表示されます。(タップすると、デバイス編集画面が表示されます。)

⑥ UID

デバイスに記載されている製品ごとの登録番号です。

⑦ 登録デバイスの選択ボタン

2 台以上デバイスを登録しているときに、homeView で操作したいデバイスを選択します。

※ 2 台以上同時に接続することはできません。

 : 選択可能なデバイスです。タップすると、 に切り替わりライブビュー画面が表示されます。

 : 現在選択しているデバイスです。「オンライン」と表示されているときに、 (ライブビュー画面に戻る) をタップするとライブビュー画面にカメラ映像が表示されます。「オフライン」と表示されているときに、 (ライブビュー画面に戻る) をタップするとライブビュー画面にカメラ映像は表示されません。)

ライブビュー画面

下記のライブビュー画面がオンラインになっているときは、カメラ映像が表示されます。(オフラインのときは、再生ボタンが▶ (灰色) で表示されライブビューを再生することはできません。🔄 (更新) をタップして再接続してください。再接続されない場合は、「オフライン」(➡ 77 ページ) の項目を参照してください。)

このアプリを再起動すると、前回表示していたデバイスのカメラ映像が表示されます。

重要

映像を遠隔で視聴する際は、6Mbps のビットレートで動画映像を配信します。デバイス側では、上りスピード 10Mbps (実測値) 以上を確保できる通信事業者サービスを、視聴側 (Android 端末) では、下りスピード 10Mbps (実測値) 以上を確保できる通信事業者サービスを推奨します。

※安定した遠隔監視をするため、映像配信・視聴中は別インターネットサービスの使用を抑えることをお勧めします。

①デバイス名 / 登録デバイスとの接続状態

②デバイスリスト

③ライブビュー

▶ をタップすると、カメラ映像の再生を開始します。

📝 カメラを 2 台以上接続していても、分割画面での表示はできません。
別のカメラ映像を再生すると、現在再生中のカメラ映像の再生は止まります。

カメラを 2 台以上接続すると表示されます。
(同時に複数のリアルタイム 映像は再生はできません。)

④更新

①デバイス名 / 登録デバイスとの接続状態

登録時に付けたデバイス名と接続の状態が表示されます。

②デバイスリスト (➡ 76 ページ)

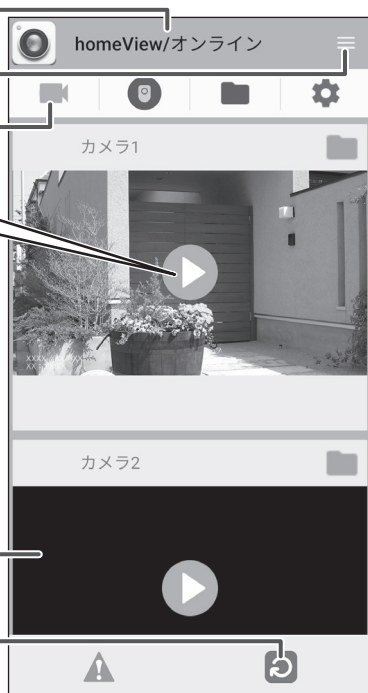
タップすると、デバイスリスト画面が表示されます。

③ライブビュー

カメラ映像画面が表示されます。

④更新

「①デバイス名 / 登録デバイスとの接続状態」に「接続中」または「オフライン」と表示されたときなどにタップすると、選択中の登録しているデバイスと再接続を行います。



専用アプリ homeView (iOS 版)

専用アプリ homeView をインストールする

使用する iPhone および iPad (iOS6.0 以降) にインストールすることで使用できます。

詳しい操作方法については、下記の QR コードまたは URL より取扱説明書を確認してください。



https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/homeView_iOS.pdf

下記の手順 1 ～ 5 にしたがって、iPhone および iPad にデバイスを登録してください。

※ homeView に登録できるデバイスは、以下の製品です。

- ・WSS シリーズの 10 インチ液晶モニターセット (別売品)
- ・WSS シリーズの 7 インチ液晶モニターセット
- ・WSS シリーズのスマート受信 BOX (別売品)

1 App Store から homeView を検索し、インストールする

インストールが完了すると、「homeView」アイコンが作成されます。



「homeView」
アイコン

2 デバイスを登録する

デバイスを登録するために、「QRCode」をタップします。

アクセスの許可を求められた場合は、「許可」を選択してください。



3 UID を登録する

液晶モニターの背面にある QR コードを読み取ります。

アクセスの許可を求められた場合は、「許可」を選択してください。



QR コードが読み取れない場合

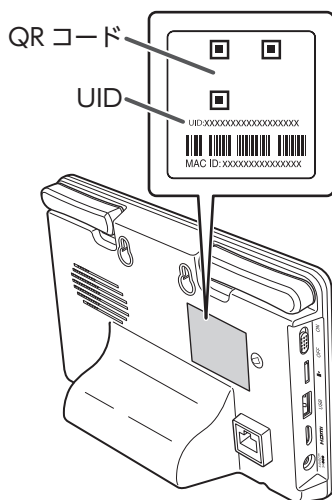
次の 2 通りの方法でデバイスを登録できます。

• 自動検索追加

「デバイス追加」をタップすると、LAN 内のデバイスが自動的に検索され表示されます。登録したいデバイスを選択後、パスワードを入力してください。

• 直接入力

「Add」をタップして、QR コードの下側に記載されている UID を直接入力してください。



4 パスワードを入力する

パスワードに「12345」(初期値)を入力します。

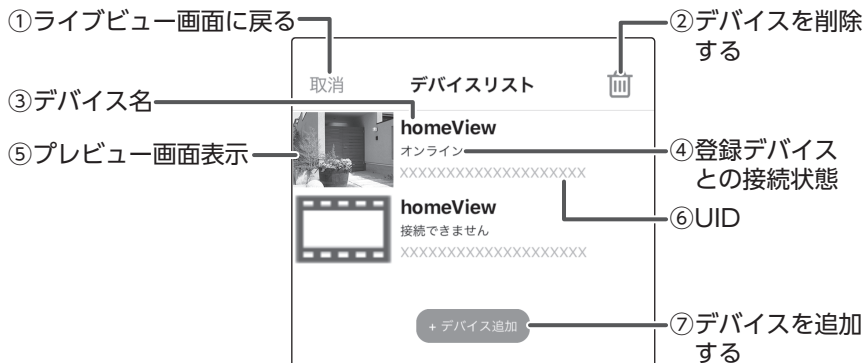
5 登録を完了する

「保存」をタップします。

取消	デバイス追加	保存
名前	homeView	
UID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX...	
パスワード	デバイスパスワード	

デバイスリスト画面

デバイスリスト画面で、登録しているデバイスを切り替えたり、デバイス名を変更したり、登録デバイスとの接続状態を確認したりすることができます。



① ライブビュー画面に戻る

タップすると、ライブビュー画面が表示されます。(➡ 83 ページ)

② デバイスを削除する

登録したデバイスを削除できます。

③ デバイス名

登録時に付けたデバイス名が表示されます。

④ 登録デバイスとの接続状態

オンライン	: 登録したデバイスと接続済みです。ライブビュー画面の表示、録画データの再生、センサーステータスの確認などができます。
オフライン	: 登録したデバイスと接続されていません。以下を確認してください。 ・をタップしてライブビュー画面を表示してから、（更新）をタップして、再接続してください。 ・登録しているデバイスの電源を入れ直してください。 ・インターネットに接続されていることを確認してください。 ・登録しているデバイスに LAN ケーブルが接続されていることを確認してください。 ・登録しているデバイスの通信状態を確認してください。 ・使用中に「オフライン」と表示されたときは、ライブビュー画面の「④更新」をタップしてください。（➡ 83 ページ）
接続中 ...	: 登録しているデバイスと再接続中です。 （登録デバイスとの接続状態がオンラインまたはオフラインになるまでお待ちください。）
接続できません	: UID を間違えています。再度デバイスリストから正しい UID を入力してください。
パスワードが間違っています	: 登録時のパスワードを間違えています。再度ライブビュー画面からパスワードを入力してください。

⑤ プレビュー画面表示

前回再生したカメラ映像が表示されます。

デバイスを登録後一度も再生していないときは、プレビュー画面にはが表示されます。（タップすると、ライブビュー画面が表示されます。）

⑥ UID

デバイスに記載されている製品ごとの登録番号です。

⑦ デバイスを追加する

タップすると、デバイス追加画面が表示されます。

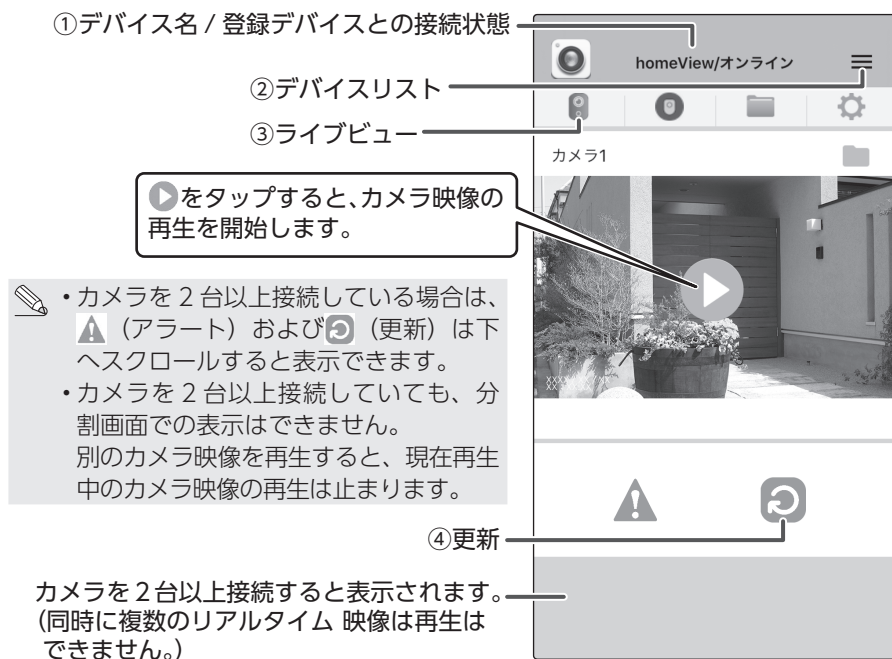
ライブビュー画面

下記のライブビュー画面がオンラインになっているときは、カメラ映像が表示されます。(オフラインのときは、ライブビューを再生することはできません。🔄(更新)をタップして再接続します。再接続されない場合は、「オフライン」(➡ 82 ページ)の項目を参照してください。)

このアプリを再起動すると、前回表示していたデバイスのカメラ映像が表示されます。

重要

映像を遠隔で視聴する際は、6Mbpsのビットレートで動画映像を配信します。デバイス側では、上りスピード 10Mbps(実測値)以上を確保できる通信事業者サービスを、視聴側(iPhone および iPad)では、下りスピード 10Mbps(実測値)以上を確保できる通信事業者サービスを推奨します。
※安定した遠隔監視をするため、映像配信・視聴中は別インターネットサービスの使用を控えることをお勧めします。



① デバイス名 / 登録デバイスとの接続状態

登録時に付けたデバイス名と接続の状態が表示されます。

② デバイスリスト (➡ 81 ページ)

タップすると、デバイスリスト画面が表示されます。

③ ライブビュー

カメラ映像画面が表示されます。

④ 更新

「① デバイス名 / 登録デバイスとの接続状態」に「接続中」または「オフライン」と表示されたときなどにタップすると、選択中の登録しているデバイスと再接続を行います。

リモートホームコントロールを使う

リモートホームコントロールでは、ドアセンサー（別売品）、人感センサー（別売品）、温湿度センサー（別売品）の3種類のセンサーのペアリングや状態を表示します。それぞれのセンサーは必ず液晶モニターとペアリングして使用してください。センサーが検知した際に、液晶モニターにお知らせしますが、録画とは連動しません。センサーの詳細については、ご使用のセンサーの取扱説明書を確認してください。

922MHz 帯について

ドアセンサー（別売品）、人感センサー（別売品）、温湿度センサー（別売品）の電波周波数帯は 922MHz 帯を使用しています。

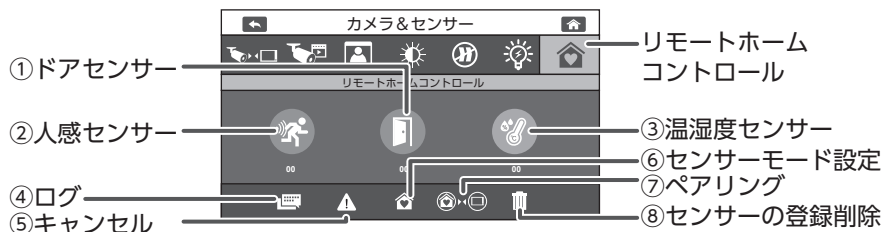
- ドアセンサー（別売品）、人感センサー（別売品）、温湿度センサー（別売品）は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

922MHz 帯は特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。本装置を使用する前に、近くで特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

 このマークが目印です

リモートホームコントロールについて

リモートホームコントロールは、別売のセンサーの登録や状態確認に使用します。設定や登録方法などについては、各センサーの取扱説明書を確認してください。



①ドアセンサー（別売品）

②人感センサー（別売品）

③温湿度センサー（別売品）

各センサーの状態をアイコンの色で示します。

灰色：液晶モニターとセンサーがペアリング（登録）されていない状態

水色：液晶モニターとセンサーがペアリング（登録）されている状態

橙色点滅：センサーが検知した状態
センサーが検知すると、本製品からアラート音出力されます。

センサーアイコンをタップすると、センサーのメニュー画面が表示されます。

④ログ

ペアリング（登録）したセンサーのステータスを確認できます。

タップすると、ログ画面が表示されます。
(microSD カードまたは外付けハードディスク接続時のみ)

⑤キャンセル

センサーが検知したときにタップすると、アイコンの点滅およびアラート音が停止します。

⑥センサーモード設定

センサーモードを設定します。
タップすると、センサーモード設定が表示されます。

⑦ペアリング

液晶モニターとセンサーをペアリング（登録）します。

タップすると、センサーとのペアリングモードになります。センサーのペアリングボタンを押すと、液晶モニターとセンサーがペアリング（登録）され、リモートホームコントロールに登録されます。

※ 1 台のセンサーを別のスマート受信 BOX に追加でペアリング（登録）したときは、センサーからのアラートは、追加でペアリング（登録）したスマート受信 BOX に反応します。

⑧センサーの登録削除

リモートホームコントロールに登録されているすべてのセンサーを削除します。タップすると、確認画面が表示されます。



✓ をタップすると、すべてのセンサーが削除されます。センサーを選択して削除することはできません。

液晶モニターを壁に掛ける

市販の木ネジを使って液晶モニターを壁に取り付けることができます。
市販の木ネジ（M4 × 40）を壁面に取り付けると壁面に穴が開きますので、事前に液晶モニターに映像が表示されることを確認してください。

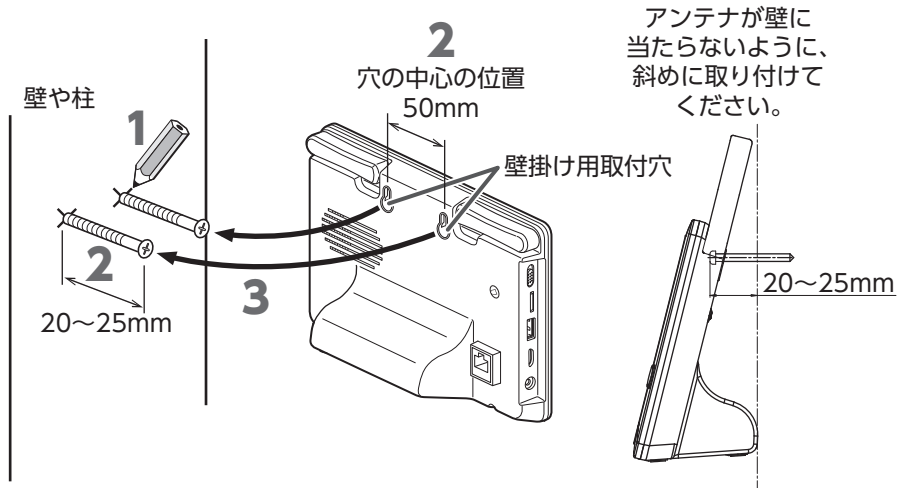
1 取り付ける壁面にネジ穴の印を付ける

2 取り付ける壁面に木ネジを取り付ける

2 本の木ネジ（M4 × 40）を 50 mm 間隔にして、木ネジの頭が 20 ～ 25 mm 突き出すように取り付けてください。

3 液晶モニターを取り付ける

液晶モニターの壁掛け用取付穴を手順 2 で取り付けた木ネジに引っ掛けます。



故障と判断する前に

症状	確認内容	ページ
カメラの映像が表示されない	液晶モニターに表示したいカメラ番号に❌が入っていませんか？	➡ 47 ページ
	カメラの AC アダプターが抜けていませんか？	➡ 18 ページ
	カメラの電源ランプは点灯していますか？	➡ 16 ページ
	カメラと液晶モニターの電波状態が悪くありませんか？	➡ 20 ページ ➡ 23 ページ
	液晶モニターの内蔵充電電池の残量がなくなっていますか？（満充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池の寿命が考えられます。電池の寿命は使用環境によって異なる場合があります。）	➡ 17 ページ ➡ 19 ページ
	液晶モニターの AC アダプターを差し込んで、電源を ON/OFF してください。	➡ 19 ページ
	パワーセーブモードになっていませんか？	➡ 62 ページ
センサーライトが点灯しない（別売品のカメラ（WSS1C）使用時のみ）	カメラが登録されていないカメラ番号を選択していませんか？	➡ 47 ページ
	アイコンが (消灯) になっていませんか？ センサーライトの点灯を確認するため、設定を (点灯) にしてください。	➡ 43 ページ
	センサーライト設定のセンサーライト点灯時間が「オフ」（点灯しない）になっていませんか？	➡ 43 ページ
	周囲が明るい、または外灯などの光が入っていませんか？ ・動体検知で点灯する場合、周辺環境が暗くなければ点灯しません。 ・光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーが動かず、点灯しない場合があります。 ・分割画面になっていませんか？	—
センサーライトが消灯しない（別売品のカメラ（WSS1C）使用時のみ）	カメラ周辺に検知している対象物はありますか？	—
	カメラと液晶モニターの電波状態が悪くありませんか？	➡ 20 ページ ➡ 23 ページ
	センサーライト設定のセンサーライトの点灯時間を設定していませんか？	➡ 43 ページ
マイクの音が聞こえない（別売品のカメラ（WSS1C）使用時のみ）	音量が 0（消音）になっていませんか？	➡ 60 ページ
	分割表示モードで表示していませんか？	➡ 48 ページ
背景が黄色っぽく映る	室内の照明器具の明かりで、白い壁が黄色っぽく映ったり、色合いが変わったりすることがありますが、故障ではありません。	—
映像の白色部分がモザイク状で表示される	本製品の液晶モニターの特性で、モザイク状になることがあります。異常ではありません。	—

症状	確認内容	ページ
映像がコマ送りになる	液晶モニターの受信強度が3～4本になっていますか？	➡ 23 ページ
テレビに映らない	テレビの入力切替はあっていますか？	—
録画できない	microSD カードまたは外付けハードディスクは初期化されていますか？	➡ 53 ページ
	外付けハードディスクは接続されていますか？	➡ 31 ページ
	録画モードに間違いはありませんか？	➡ 50 ページ
	カメラと液晶モニターの電波状態が悪くありませんか？ 電波の状態によっては、録画できないことがあります。	➡ 23 ページ
	「上書き録画しない」に設定している場合、保存先の microSD カードに十分な空き容量はありますか？	➡ 55 ページ
	録画したいカメラのカメラ選択が  の設定になっていませんか？	➡ 47 ページ
	ペアリング（登録）しているカメラのカメラ選択を  にしていますか？	➡ 47 ページ
カメラ映像が切り替わらない	液晶モニターに microSD カードが正しく挿入されていますか？	➡ 29 ページ
	表示したいカメラのカメラ選択が  の設定になっていませんか？	➡ 47 ページ
テレビに映像が表示されない	HDMI ケーブルが断線していませんか？	—
	テレビの入力切替があっていますか？	—
	 （テレビ出力）をタップしましたか？	➡ 33 ページ
モーション検知録画モードが動作しない	検知対象（人や物）までの距離が長くないですか？	➡ 22 ページ
	カメラの電源ランプは点灯していますか？	➡ 16 ページ
	周囲温度は高くないですか？	➡ 21 ページ
	モーション検知設定が「低」になっていませんか？	➡ 49 ページ
再生できない	録画ファイルは保存されていますか？	➡ 56 ページ
	録画中に液晶モニターの電源を OFF にしていませんか？	➡ 17 ページ
	液晶モニターの電源を入れ直してください。	➡ 17 ページ
受信状況が頻繁に悪くなる	雨や雪が降っていませんか？	—
	次のような設置環境の場合、受信状況が悪くなるおそれがあります。 ・近隣に電波塔や工場等がある ・カメラや液晶モニターのそばで電波干渉を及ぼす機器（ルーターなど）を使用している	➡ 11 ページ
	扉を開けている状態で設置後、扉を閉めていませんか？	
	カメラや液晶モニターの周囲に遮へい物や反射物などありませんか？	➡ 20 ページ

症状	確認内容	ページ
夜間撮影時、映像が何も映らない、または真っ暗な状態のままになる	夜間、外灯などの光が入っていませんか？ 光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーが働かず、夜間撮影モードに切り替わらない場合があります。	—
昼間でも映像が白黒になる	カメラに搭載された照度センサーで周囲の明るさを検知し、自動的に夜間撮影モード（白黒映像）に切り替えています。	—
	設置場所やカメラの向きを変えるなど、周辺環境が明るくなるようにしてください。	—
夜間撮影時、雪が降ったような映像になる	空気中のほこりやチリなどが赤外線 LED の光を反射するため故障ではありません。	—
アラート音が鳴らない	 や  になっていませんか？	➡ 68 ページ ➡ 69 ページ
アラート音が鳴り続ける	カメラの周囲に検知対象がありませんか？	—
カメラが登録（ペアリング）できない	カメラの電源は入っていますか？	➡ 18 ページ
	液晶モニターとカメラの距離が近い状態でペアリングしていますか？	➡ 45 ページ
専用アプリを検索できない	検索キーワードの入力に間違いありませんか？	➡ 74 ページ ➡ 79 ページ
	iPad の場合、iPhone 用アプリで検索していますか？	➡ 79 ページ
IP アドレスが表示されない	液晶モニターの  （ネットワークの状態）が緑色になっていますか？	➡ 36 ページ
スマートフォンまたはタブレットに映像が表示されない	- インターネット回線に接続していますか？ - IP 設定はあっていますか？ - 液晶モニターの （ネットワークの状態）が緑色になっていますか？ - スマートフォンまたはタブレットが接続できていますか？ - homeView を再起動してください。 - 通信速度が遅いまたは回線が混み合っている場合があります。時間をあけて再度接続してください。	➡ 71 ～ 73 ページ
スマートフォンまたはタブレットに通知がこない	スマートフォンまたはタブレットの通知設定を ON にしていますか？	—
時刻が変わらない	時刻を設定後、  を押していますか？	➡ 61 ページ
液晶モニターに映像が表示されない	液晶モニターの AC アダプターを差し込んで、電源を ON/OFF してください。	➡ 19 ページ
	テレビにカメラ映像画面（ライブビュー画面）が表示されていませんか？	➡ 33 ページ
	パワーセーブモードになっていませんか？	➡ 62 ページ

メンテナンス、別売品

お手入れおよびメンテナンス時のご注意

- ・本製品や本製品の付属品は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- ・カメラの性能に悪い影響があるため、カメラのレンズ表面に指紋や汚れを付けないでください。また、手でレンズ表面を触らないでください。
- ・レンズが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・本製品を分解しないでください。故障の原因となります。
- ・本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- ・AC アダプターは、必ず付属の専用 AC アダプターを使用してください。

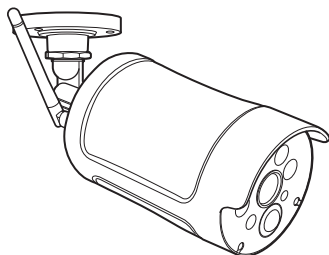
別売品について

●増設用カメラ

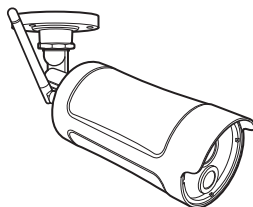
購入後、必ずペアリングを実施してください。

増設用カメラは、電源を入れただけでは液晶モニターと接続されません。

増設する場合は、専用の増設用カメラをお買い求めください。



増設用センサーライト付ワイヤレス
フルHD カメラ※1、※2
型番：WSS1C



増設用ワイヤレス
フルHD カメラ
型番：WSS2C

※1：液晶モニターとカメラ間で音声の通話ができます。

※2：センサーライトの機能があります。

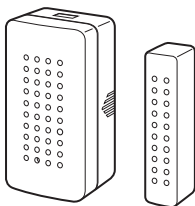
重要

- ・本製品は、液晶モニターに増設用カメラを追加で最大3台まで登録できます。
- ・増設用カメラを設置するときは、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

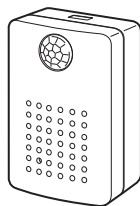
●ドアセンサー、人感センサー、温湿度センサー

購入後、必ずペアリングを実施してください。

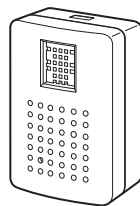
センサーの詳細については、ご使用のセンサーの取扱説明書を確認してください。



ドアセンサー
型番：WSSDS



人感センサー
型番：WSSPS



温湿度センサー
型番：WSSTS

仕 様

仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

無線通信部

項目	規格
通信方式 / 変調方式	2.4GHz GFSK/FHSS
データレート	6Mbps
映像方式	H.264
見通し通信距離	最大300m (遮蔽物や妨害電波のない環境での通信可能距離) (➡ 20 ページ)

カメラ

項目	規格
画素数	200 万画素 (H : 1920 V : 1080 ピクセル)
イメージセンサー	1/2.7 インチ CMOS センサー
撮影距離	約 1.5m ~ ピントの合う範囲まで
視野角	左右 90° / 上下 50°
動体検知距離 / 角度	最大約 7m / 80°
赤外線投光距離	10 m
最低被写体照度	IR LED 点灯時 : 0
防雨・気密性	IP66
消費電力	最大 5.3W (DC9V/580mA)
内蔵マイク	1 個
使用温度範囲	-10 ~ +50℃
外形寸法	W64.3 × H64.3 × D228.4mm (アンテナ部を除く)
質量	約 460g

はじめに

準備 / 設置

カメラ設定 / 通話

録画 / 再生

システム設定

アラート設定

インターネット接続

その他

液晶モニター

項目	規格
LCD解像度	1024 × 600
画面サイズ	7 インチ
タッチパネル方式	抵抗膜方式
録画解像度	Full HD (1920×1080) / HD (1280×720)
録画モード	モーション検知 / スケジュール / マニュアル
録画上書き	設定可能
録画時間	5 分 / 10 分 / 15 分
対応microSDカード/容量	microSDHC/microSDXC クラス 10 以上 / 最大 256GB (フォーマットすると、FAT32 形式になります)
外付けハードディスク接続端子	USB2.0 (Type A) × 1個
外付けハードディスク容量	最大 2TB (フォーマットすると、FAT32 形式になります)
USBバスパワー	最大 500mA
LAN端子	Type : RJ-45, 10/100Mbps
HDMI出力	Type-C (Ver.1.4) × 1 個
対応テレビ	1080i/720p 対応
対応カメラ	WSS1C/WSS2C (最大 4 台)
スピーカー	1 個
マイク	1 個
センサー対応	受信周波数922MHz ドア/人感/温湿度 (各最大8個)
複数カメラ同時録画	最大 4 台同時録画可能
カメラマルチ画面数	1/2/4
リモート接続	専用アプリにより対応可能
ソフトウェアアップデート	ネットワーク対応
パワーセーブまでの時間	3 分 / 10 分 / OFF
使用温度範囲	0 ~ +40℃
消費電力	7.1W (DC5V/1410mA)
使用時間(バッテリー使用時)	約 3 時間 (HDD なし)
充電時間	約 6.5 時間 (0℃以下充電停止)
外形寸法	W198 × H130 × D63.6mm (アンテナ部除く)
質量	約 490 g

スマートフォンおよびタブレット

項目	規格
対応 OS	iOS6.0 以降 Android6.0 以降
専用アプリ	homeView

外形寸法図

[illegible]

[illegible]

製品に関する
お困りごとを解決！



スマートフォンで
各種設定方法が
わかる⇒



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

[1015]

保 証 書

型 番	
WSS7M2C	
ご注文・ご店名	
電話 () -	
お名前	ふりがな
お住所	様
電話 () -	
お買上年月日	
年 月 日	
保証期間	
お買上日から 1 年 間	

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様ご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください！



0570-033-083

※ 全国一律料金でご利用いただけます。(1908)
※ 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>